

uCosminexus Enterprise Search ユーザーズガイド

解説・手引書

3020-3-H92-30

前書き

■ 対象製品

R-1595S-13 uCosminexus Enterprise Search 08-73 (適用 OS : Windows Server 2003 R2, Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012)

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Lotus Notes は、IBM Corporation の登録商標です。

Microsoft Excel, Microsoft Office, Microsoft Office Excel, Microsoft Word, および Microsoft Office Word は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft, PowerPoint, Windows, および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

製品名称	略称
Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition	Windows XP
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2 Standard Edition	Windows Server(R) 2003 R2
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2 Enterprise Edition	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2 Standard Edition (x64)	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2 Enterprise Edition (x64)	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition	Windows Server 2008
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition	

製品名称	略称
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition (x64)	Windows Server 2008
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition (x64)	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Edition (x64)	Windows Server 2008 R2
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Edition (x64)	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard Edition	Windows Server 2012
Microsoft Internet Explorer 7.0	IE
Microsoft Internet Explorer 8.0	
Microsoft Internet Explorer 9.0	
Microsoft Internet Explorer 10.0	

■ 発行

2013年9月 3020-3-H92-30

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2011, 2013, Hitachi, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2011, 2013, Hitachi Solutions, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-H92-30) uCosminexus Enterprise Search 08-73 (適用 OS : Windows Server 2003 R2, Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012)

追加・変更内容	変更箇所
多機能検索画面を追加しました。	1 2
クライアントで使用できるブラウザに Internet Explorer 10.0 をサポートしました。	—

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは uCosminexus Enterprise Search の検索画面の操作方法について説明したものです。また、前提 OS を Windows XP、ブラウザを IE7.0 として作成しています。ご使用の OS、ブラウザにより表記には違いがあります。詳細は、Windows のヘルプをご確認ください。なお、以降このマニュアルでは uCosminexus Enterprise Search を Enterprise Search と表記します。

Enterprise Search の主な機能を次に示します。

- ファイルサーバー、またはイントラネットなどに存在する企業内に蓄積された膨大なビジネス文書、および RSS フィードの最新情報の検索

■ 対象読者

このマニュアルは、Enterprise Search を使用して検索を行うユーザーを対象にしています。次の内容を理解されていることを前提としています。

- Windows の操作に関する基本的な知識

■ このマニュアルで使用する記号

記号	意味
「」	画面、タブ、テキストボックス、項目などの名称を示します。
[]	リンク、ボタン、ラジオボタンなどの名称を示します。
△	1 文字の半角空白を示します。

■ 操作上の注意事項

- ボタン、アイコン、およびリンクをクリックする場合は、ダブルクリックしないでください。
- Web ブラウザーの [戻る] ボタンを使用しないでください。
- 一定の時間を空けて画面操作をした場合、セッション切れによりログイン画面が表示されることがあります。
- Web ブラウザーの [ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ] タブ - [レベルのカスタマイズ] で、[スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行] と [アクティブスクリプト] を、どちらも [有効にする] に設定してください。なお、IE のバージョンによっては、文言が異なる場合があります。
- Web ブラウザーに Internet Explorer 9.0 または Internet Explorer 10.0 を使用する場合、[ツール] - [インターネットオプション] - [全般] タブ - [設定] で、タブブラウザの設定を [常に新しいウィンドウでポップアップを開く] に設定してください。

- Web ブラウザーに Internet Explorer 10.0 を使用する場合、[ツール] – [互換表示設定] で、Enterprise Search のユーザー用画面のログイン URL を登録してください。

目次

前書き	2
変更内容	4
はじめに	5

第1編 多機能検索画面編

1	ログインと画面構成	9
1.1	ログイン	10
1.2	ホーム画面の構成	11
1.2.1	メニュー	11
1.2.2	検索画面	12
1.2.3	絞り込み検索フォーム画面	12
1.2.4	検索結果画面	13
1.3	設定画面	14
2	検索	16
2.1	Enterprise Search の検索の種類	17
2.1.1	指定できる検索条件	17
2.2	検索画面	19
2.2.1	絞り込み検索フォーム	20
2.3	詳細検索画面	23
2.4	検索結果画面	26
2.4.1	似ている文書を検索した場合	30
2.5	仮想フォルダー機能	32
2.5.1	仮想フォルダーメニュー	32
2.5.2	仮想フォルダーを利用した検索	34
2.5.3	仮想フォルダー画面	35
2.5.4	仮想フォルダー作成画面	37
2.5.5	仮想フォルダー詳細情報画面	41
2.6	検索条件保存機能	45

第2編 検索画面編

3	ログインと画面構成	47
3.1	ログイン	48
3.2	ホーム画面の構成	49

- 3.2.1 ホーム画面の初期画面 49
- 3.2.2 絞り込み検索フォーム画面 49
- 3.2.3 検索結果画面 50
- 3.3 設定画面 52

4 検索 54

- 4.1 Enterprise Search の検索の種類 55
 - 4.1.1 指定できる検索条件 55
- 4.2 簡易検索画面 57
 - 4.2.1 絞り込み検索フォーム 58
- 4.3 詳細検索画面 61
- 4.4 検索結果画面 63
 - 4.4.1 似ている文書を検索した場合 65

第3編 ポートレット編

5 Groupmax 統合検索ポートレット 67

- 5.1 Groupmax 統合検索ポートレットの概要 68
- 5.2 Groupmax 統合検索ポートレットの画面構成 70
 - 5.2.1 Groupmax 統合検索ポートレット（デフォルトサイズ）の場合 70
 - 5.2.2 Groupmax 統合検索ポートレット（最大サイズ）の場合 72
- 5.3 Groupmax 統合検索ポートレットの詳細検索 79

付録 82

- 付録 A このマニュアルの参考情報 83
 - 付録 A.1 関連マニュアル 83
 - 付録 A.2 このマニュアルでの表記 83
 - 付録 A.3 英略語 83
 - 付録 A.4 KB（キロバイト）などの単位表記について 84

索引 85

1

ログインと画面構成

この章では、多機能検索画面へのログインと画面構成について説明しています。

1.1 ログイン

Enterprise Search の多機能検索画面のログイン URL へアクセスします。URL の例を次に示します。

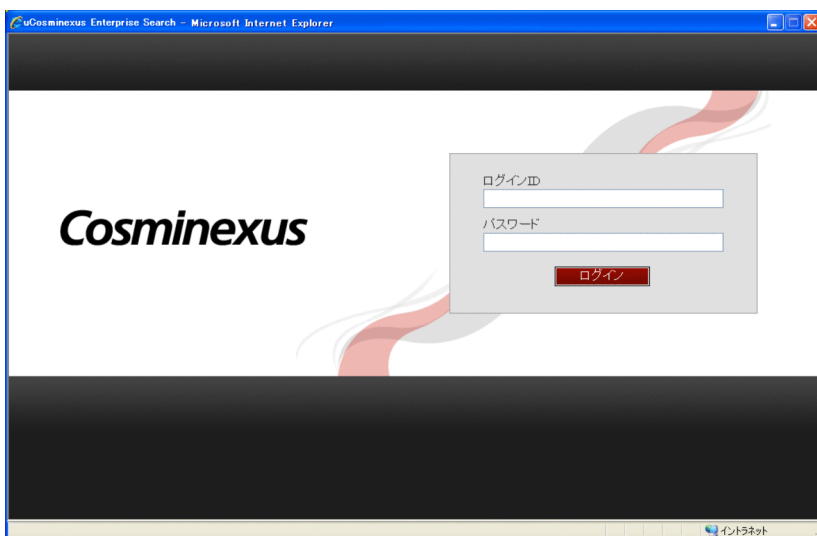
http://ホスト名^{*}/iwsearch/search/multi/login.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

ログイン URL にアクセスすると、次の画面が表示されます。

なお、ログイン不要の設定の場合は、ログイン URL を指定するとホーム画面が表示されます。ホーム画面については「1.2 ホーム画面の構成」を参照してください。

図 1-1 ログイン画面



Enterprise Search に登録しているログイン ID とパスワードを入力し [ログイン] ボタンをクリックすると、Enterprise Search にログインできます。

なお、ログイン ID、パスワードは、大文字・小文字を区別します。

1.2 ホーム画面の構成

Enterprise Search にログインすると、多機能検索画面のホーム画面が表示されます。ログイン不要の設定の場合は、ログイン URL を指定すると多機能検索画面のホーム画面が表示されます。

多機能検索画面では、左側には常にメニューが表示されます。また、右側にはログイン直後の初期状態では検索画面が表示されます。

ホーム画面の構成について説明します。

1.2.1 メニュー

ホーム画面のメニューを次に示します。

図 1-2 ホーム画面のメニュー



メニューの表示項目を次の表に示します。

表 1-1 メニューの表示項目

#	項目名	説明
①	Cosminexus	クリックするとホーム画面の初期画面に戻ります。
②	検索	検索機能をまとめたタイトルです。次のリンクが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">検索画面詳細検索画面
③	検索画面	リンクをクリックすると検索画面に移動します。これまでの検索条件は引き継がず、新しい検索条件を指定できます。
④	詳細検索画面	リンクをクリックすると詳細検索画面に移動します。これまでの検索条件は引き継がず、新しい検索条件を指定できます。

#	項目名	説明
⑤	仮想フォルダー※	仮想フォルダー機能で登録した仮想フォルダーのリンクを一覧表示します。詳細は「2.5 仮想フォルダー機能」を参照してください。
⑥	保存した条件※	検索条件保存機能で保存した検索条件のリンクを一覧表示します。詳細は「2.6 検索条件保存機能」を参照してください。

注※
管理者が機能を「有効」に設定している場合のみ表示されます。機能を「無効」に設定している場合は表示されません。

1.2.2 検索画面

ホーム画面では、最初に検索画面が表示されます。詳細については「2. 検索」を参照してください。

図 1-3 検索画面



1.2.3 絞り込み検索フォーム画面

検索画面で「絞り込み検索」タブをクリックすると、タブが開いて絞り込み検索フォームが表示されます。絞り込み検索フォームを次に示します。

絞り込み検索フォームの詳細については「2.2.1 絞り込み検索フォーム」を参照してください。

図 1-4 絞り込み検索フォーム



1.2.4 検索結果画面

検索画面、または絞り込み検索フォームに検索条件を指定して検索を実行すると、検索結果画面が表示されます。検索結果画面を次に示します。

検索結果画面の詳細については、「2.4 検索結果画面」を参照してください。

図 1-5 検索結果画面



1.3 設定画面

検索画面で [設定] リンクをクリックすると、設定画面が表示されます。設定画面ではユーザーのパスワードの変更ができます。

ログインが任意、または不要の設定の場合は、URL を指定するとホーム画面が表示されます。設定画面のURL を次に示します。

http://ホスト名*/iwsearch/search/multi/userProfile.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

設定画面を次に示します。なお、Active Directory の管理するユーザー ID でログインしている場合、設定画面は表示されません。

図 1-6 設定画面



設定画面の表示項目を次の表に示します。

表 1-2 設定画面の表示項目

#	項目名	説明
①	[ホーム] リンク	クリックするとホーム画面の初期画面へ戻ります。
②	[ログアウト] リンク	クリックするとログアウトして、ログイン画面を表示します。
③	現在のパスワード	パスワードを変更する場合に、現在のパスワードを入力します。
④	パスワード/パスワード (確認)	パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを1~16文字以内で入力します。使用できる文字は半角英数字、および次の記号です。 [! " # \$ % & ' () * + , - / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { } ~]

#	項目名	説明
⑤	[更新] ボタン	クリックすると入力したパスワードで更新されます。

2

検索

この章では、Enterprise Search の検索の種類と多機能検索画面で使用できる機能について説明しています。

2.1 Enterprise Search の検索の種類

Enterprise Search には、検索画面と詳細検索画面の二つの検索機能があります。

キーワードだけで検索する場合は、検索条件入力フォームに任意のキーワードを入力して検索を実行します。複数の検索条件の組み合わせで検索する場合は、詳細検索画面で検索を実行します。

なお、ログインが必須、および任意の場合に検索の対象となるのは、ユーザーにアクセス権がある文書だけです。

図 2-1 検索エリア



2.1.1 指定できる検索条件

指定できる検索条件について説明します。

(1) 検索画面で指定できる検索条件

検索画面では、次の表に示す検索条件を指定した検索ができます。

表 2-1 検索画面で指定できる検索の種類

検索の種類	検索条件	説明
キーワードでの検索	Enterprise	「Enterprise」を含む文書を検索します。
キーワードを組み合わせた検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のすべてを含む文書を検索します。
キーワードを組み合わせた検索（+記号を付けた検索）	Enterprise△+日立	「Enterprise」と「日立」のどちらかを含む文書を検索します。
キーワードを組み合わせた検索（-記号を付けた検索）	Enterprise△-日立	「Enterprise」を含む文書のうち、「日立」を含まない文書を検索します。

注

△、+（プラス）、-（マイナス）は半角、全角のどちらを指定しても構いません。

(2) 詳細検索で指定できる検索条件

詳細検索では、次の表に示す検索条件を指定した検索ができます。

表 2-2 詳細検索で指定できる検索の種類

検索の種類	検索条件	説明
キーワードでの検索「すべてを含む」または「いずれかを含む」で検索	Enterprise	「Enterprise」を含む文書を検索します。
キーワードでの検索「すべてを含む」で検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のすべてを含む文書を検索します。
キーワードでの検索「いずれかを含む」で検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のどちらかを含む文書を検索します。
キーワードでの検索「含まない」で検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のどちらも含まない文書を検索します。
文章での検索	地球環境に配慮した eco 商品に関連する広告活動	入力した文章から Enterprise Search が特徴となるキーワードを抽出し、類似した内容の文書を検索します。
検索範囲アドレス指定での検索	hitachi.co.jp	「hitachi.co.jp」を含む URL を実体アドレスの一部に持つ文書を検索します。
日付での検索	次の条件を指定した場合 <ul style="list-style-type: none"> 日付指定プルダウンメニュー 2011 年 1 月 1 日 の前後 1 ヶ月 	2010 年 12 月 1 日から 2011 年 2 月 1 日までの日付情報を持つ文書を検索します。

(3) 検索時の注意事項

検索時の注意事項を次に示します。

- 大・小文字，全角・半角の区別はされません。同一として扱われます。例えば，enterprise，Enterprise，ENTERPRISE のどれで検索しても，同じ検索結果が表示されます。
- 次の文字がキーワードに含まれる場合は，"（ダブルクォート）で囲んでください。
"，＋，－，空白，[]（角括弧），::（コロンコロン）
ただし，"を検索する場合は""のように"を二つ並べて検索条件に指定する必要があります。
- """"を検索条件のテキストボックスに入力すると，"を検索対象として検索できます。例えば，"Enterprise"を検索する場合は""""Enterprise""と検索条件に指定すると，"Enterprise"が検索できます。
- 一つのキーワードに指定できる文字の長さは，64 文字までです。
- 一度に指定できるキーワードは 10 個までです。10 個を超えるキーワードを指定した場合は，10 個までが検索対象と判断されます。

2.2 検索画面

検索画面について説明します。

検索画面ではキーワードを指定して即時に検索を実行することができます。指定したキーワードに対して絞り込み条件を追加する場合は、[絞り込み検索] タブをクリックして絞り込み検索フォームで条件を指定します。

ログインが任意、または不要の設定の場合は、URL を指定して検索画面を表示できます。検索画面の URL を次に示します。

http://ホスト名[※]/iwsearch/search/multi/search.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

図 2-2 検索画面



検索画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-3 検索画面の表示項目

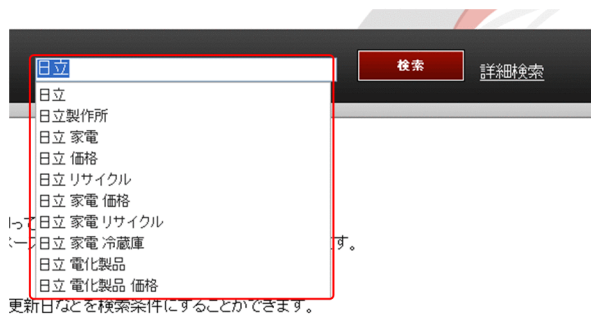
#	項目名	説明
①	[設定] リンク	設定画面が表示されます。
②	[ログアウト] リンク	ログアウトして、ログイン画面を表示します。
③	検索条件入力フォーム	検索条件の入力フォームです。 指定できる検索条件については「2.1.1 指定できる検索条件」を参照してください。 システム管理者の設定によっては、入力したテキストに応じた検索キーワード候補 [※] が表示されます。
④	[検索] ボタン	検索条件入力フォームに指定した検索条件で、検索を実行します。
⑤	[詳細検索] リンク	詳細検索画面を表示します。

#	項目名	説明
⑤	[詳細検索] リンク	詳細検索については「2.3 詳細検索画面」を参照してください。
⑥	[絞り込み検索] タブ	クリックすると、絞り込み検索フォームを表示します。

注※

検索キーワード候補について説明します。システム管理者が検索キーワード候補を表示する設定としている場合、ユーザーが検索条件入力フォームに検索キーワードを入力すると、入力したテキストに応じた検索キーワード候補が表示されます。ユーザーは表示された検索キーワード候補から検索キーワードを選択して、検索条件に指定することができます。検索キーワード候補表示時の画面を次に示します。

図 2-3 検索キーワード候補表示画面



表示された検索キーワード候補は、マウスでクリックして、またはキーボードのショートカットキーで選択して、検索条件に指定することができます。利用できるショートカットキーを次に示します。

表 2-4 検索キーワード候補表示時に利用できるショートカットキー

入力キー	検索キーワード候補表示時の動作	検索キーワード候補非表示時の動作
↑	一つ上の検索キーワード候補へ移動	検索キーワード候補をサーバーから取得して表示
↓	一つ下の検索キーワード候補へ移動	
PageUp	一番上の検索キーワード候補へ移動	
PageDown	一番下の検索キーワード候補へ移動	
Tab	選択している検索キーワード候補を入力エリアに反映	—
Enter		—
ESC	検索キーワード候補を削除	—

2.2.1 絞り込み検索フォーム

[絞り込み検索] タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

図 2-4 絞り込み検索フォーム



絞り込み検索フォームの表示項目について、次の表に示します。

表 2-5 絞り込み検索フォームの表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件	初期画面で入力した検索条件を表示します。初期画面で何も入力しないで [絞り込み検索] タブをクリックした場合は、空で表示されます。
②	ファイル形式	検索対象とするファイル形式を、チェックボックスで選択します。どれも選択しない場合、検索結果は 0 件となります。選択できるファイル形式を次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> 指定なし (デフォルト) html, htm pdf doc, docx xls, xlsx ppt, pptx
③	日付	検索対象とする文書を、日付を指定して絞り込む場合に選択します。デフォルトでは [指定なし] が選択されています。日付を指定する場合は、プルダウンメニューで指定します。なお、指定した日付が存在しない日付の場合、存在する日付に変更します。例えば、4 月 31 日と指定した場合は、4 月 30 日に変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 指定なし (デフォルト) 年, 月, 日

#	項目名	説明
③	日付	<p>年には Enterprise Search のサーバーに設定された年の前後 10 年を指定できます。デフォルトでは Enterprise Search のサーバーに設定された年月の同月 1 日が表示されています。</p> <p>日付を指定した場合、指定した日付を起点とした検索範囲を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • の前後 1 ヶ月：年月日に指定した日付の前後 1 ヶ月 • より以前の日：年月日に指定した日付より以前の日 • より以降の日：年月日に指定した日付より以降の日 • から：日付指定のプルダウンメニューが表示され、いつまでを検索の対象日付とするかを、指定できます。指定できる年月日の条件は同じです。 <p> <input type="text" value="2011"/>年 <input type="text" value="08"/>月 <input type="text" value="01"/>日 から <input type="text" value="2011"/>年 <input type="text" value="08"/>月 <input type="text" value="09"/>日 </p> <p>最初に指定した日付より、過去の日付を指定した場合はメッセージが表示されます。</p>
④	検索範囲	<p>検索対象とする範囲のフォルダーのチェックボックスを選択します。デフォルトではすべてが選択されています。</p> <p> <input type="checkbox"/> アイコンをクリックすると下位のフォルダーが表示され、詳細な検索範囲を指定できます。 </p> <p>上位フォルダーのチェックボックスを選択すると、下位フォルダーもすべて選択されます。上位フォルダーのチェックボックスを外すと、下位フォルダーのチェックボックスの選択もすべて外れます。</p>
⑤	[検索条件を追加] ボタン	<p>検索条件を追加する場合、プルダウンメニューで検索条件を指定し [検索条件を追加] ボタンをクリックします。指定した検索条件が追加されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 検索範囲アドレス指定：検索範囲のアドレスを入力して指定できます。 • ファイル名：ファイル名を指定して検索できます。 • 文章：文章を入力して、文章の検索ができます。 • ユーザー：ユーザー名を指定した検索ができます。 <p>追加できる検索条件がなくなった場合は、非表示となります。追加できる検索条件の詳細については「2.3 詳細検索画面」を参照してください。</p>
⑥	[検索条件を削除] ボタン	<p>[検索条件を追加] ボタンで追加した検索条件の欄に表示されます。クリックすると、追加した検索条件の項目が削除されます。</p>
⑦	[検索] ボタン	<p>指定した絞り込み検索の条件で、検索入力フォームで入力した検索条件の検索を実行します。</p>
⑧	[閉じる] タブ	<p>絞り込み検索フォームを閉じて、初期画面を表示します。</p> <p>指定した絞り込み検索の条件は削除されないで、そのまま設定されています。</p>

2.3 詳細検索画面

詳細検索画面について説明します。

ログインが任意、または不要の設定の場合は、URL を指定して詳細検索画面を表示できます。詳細検索画面の URL を次に示します。

http://ホスト名*/iwsearch/search/multi/advancedSearch.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

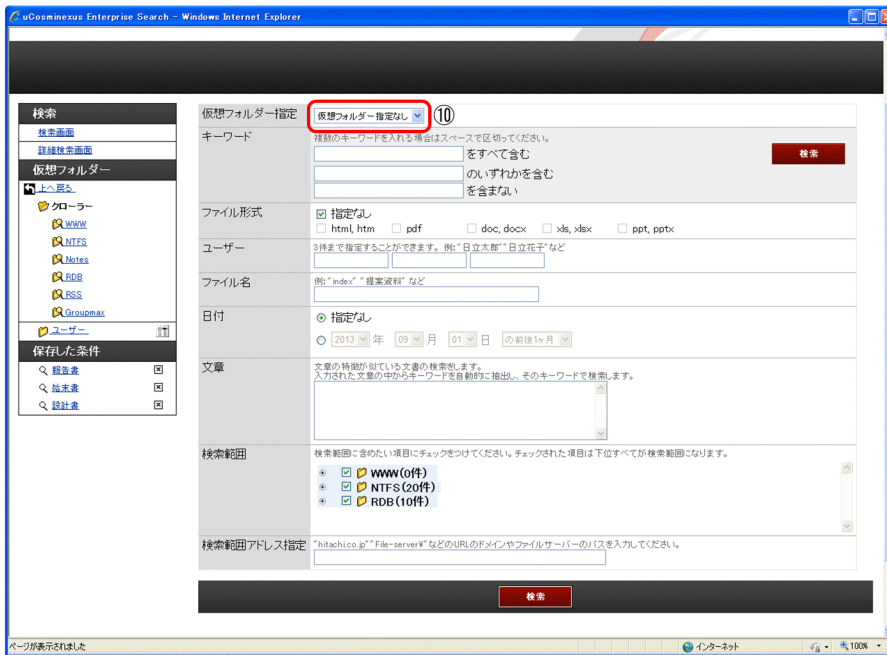
[詳細検索] リンクをクリック、または URL を指定すると、次の画面が表示されます。

図 2-5 詳細検索画面



また、検索結果の絞り込みに仮想フォルダーを使用した場合は次の画面が表示されます。

図 2-6 詳細検索画面（検索結果の絞り込みに仮想フォルダーを使用した場合）



詳細検索画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-6 詳細検索画面の表示項目

#	項目名	説明
①	キーワード	次のどれか、またはすべてを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • をすべてを含む すべてのキーワードを文書中に含む文書を検索対象とします。 • のいずれかを含む 指定した複数のキーワードのうち、どれかを文書中に含む文書を検索対象とします。 • を含まない 指定したキーワードを文書中に含まない文書を検索対象とします。
②	ファイル形式※	検索対象とするファイル形式を、チェックボックスで選択します。どれも選択しない場合、検索結果は 0 件となります。
③	ユーザー	ユーザーを 3 人まで指定して検索できます。24 文字まで入力できます。検索対象となるユーザー名は、検索対象のファイルが持つデータにより異なります。例えば、office 文書の場合は文書のプロパティ、Groupmax 内の文書の場合は、発言者名、投稿者名などが検索の対象となります。
④	ファイル名	ファイル名を指定して検索する場合に指定します。48 文字まで入力できます。なお、ファイル名にタブ、および全角および半角の空白が含まれている場合は、これらの文字を無視して検索を実行します。
⑤	日付※	検索対象とする文書を、日付を指定して絞り込む場合に選択します。
⑥	文章	検索したい情報に関する文章を検索条件にする場合に指定します。文章を入力すると、入力した文章に類似した文章を含む文書を検索の対象とします。

#	項目名	説明
⑥	文章	文章での検索で指定できるのは 30,000 文字までの文字列です。改行や空白の羅列、短過ぎる文章、またはひらがなだけの文章を入力した場合などは、検索する情報を特定できないことがあります。
⑦	検索範囲※	検索対象とする範囲のチェックボックスを選択します。
⑧	検索範囲アドレス指定	検索範囲をアドレスで指定する場合に入力します。256 文字まで入力できます。
⑨	[検索] ボタン	指定した絞り込み検索の条件で、検索条件入力フォームの検索条件で検索を実行します。
⑩	仮想フォルダー	<p>仮想フォルダーを使用するかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想フォルダー指定なし 検索した場合、仮想フォルダーメニューは最上位フォルダー「システム」をカレントフォルダーとして表示します。 検索結果の絞り込みに使用された仮想フォルダー名（デフォルト） <p>以下の場合、非表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想フォルダーで検索結果を絞り込んでいない場合 サーバー設定で仮想フォルダー機能を無効にしている場合

注※

指定できる条件は、絞り込み検索フォームと同じです。詳細は「[2.2.1 絞り込み検索フォーム](#)」を参照してください。

2.4 検索結果画面

検索結果画面について説明します。

なお、ログイン任意、または不要の設定の場合は、以前の検索結果画面の URL を指定して、検索結果画面を表示することができます。

検索結果画面を次の図に示します。検索結果画面に表示できる件数は 200 件までです。

図 2-7 検索結果画面



また、検索結果の絞り込みに仮想フォルダーを使用した場合は次の画面が表示されます。

図 2-8 検索結果画面（検索結果の絞り込みに仮想フォルダーを使用した場合）



検索結果画面の表示項目について次の表に示します。

表 2-7 検索結果画面の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	ホーム画面、検索結果画面、または詳細検索画面で指定した検索キーワードが表示されます。 検索条件を入力すると、システム管理者の設定によっては、入力したテキストに応じた検索キーワード候補が表示されます。ユーザーは表示された検索キーワード候補から検索キーワードを選択して、検索条件に指定できます。 検索キーワード候補表示の詳細については「2.2 検索画面」を参照してください。
②	[検索] ボタン	指定した検索条件で検索を実行します。 検索条件入力フォーム、および絞り込み検索フォームでの検索条件「文章」に何も入力されていない場合でも、検索は実行されます。
③	[詳細検索] リンク	詳細検索画面を表示します。 詳細検索については「2.3 詳細検索画面」を参照してください。
④	[絞り込み検索] タブ	絞り込み検索フォームを表示します。 絞り込み検索の詳細については、「2.2.1 絞り込み検索フォーム」を参照してください。
⑤	ヒット件数	指定した検索条件でヒットした件数を表示します。

#	項目名	説明
⑤	ヒット件数	ヒット件数はシステム管理者の設定により、表示されない場合があります。また、表示する設定の場合でも、10,000件以上ヒットしたときは「10,000件以上ヒットしました。」と表示し、10,001件目以降は表示されない場合があります。
⑥	検索結果の表示順	検索結果画面に表示する順序をプルダウンメニューで指定します。表示順を変更すると、指定された順序で検索を再実行します。 <ul style="list-style-type: none"> キーワードの一致順（デフォルト） 指定したキーワードへの一致度が高い順で検索結果を表示します。 日付が新しい順 文書が持つ日付情報の新しい順で検索結果を表示します。 日付が古い順 文書が持つ日付情報の古い順で検索結果を表示します。
⑦	表示件数の指定	1ページに表示する検索結果の件数を、プルダウンメニューから指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 10件（デフォルト） 20件 50件 100件
⑧	タイトル	ヒットした文書のタイトルです。 クリックすると文書を別画面で表示します。タイトルに検索条件が含まれる場合は、太字で表示します。
⑨	[検索条件保存] ボタン	検索結果画面の結果を表示する際に使用した検索条件を保存します。詳細については「 2.6 検索条件保存機能 」を参照してください。
⑩	文書種別	ヒットした文書の種別を表示します。 例えば、RSS フィード内の文書の場合は RSS、office 文書の場合は doc、xls、Groupmax の文書の場合は、電子会議室などと表示されます。
⑪	概要	文書の概要を表示します。概要に検索条件が含まれる場合は、太字で表示されません。
⑫	文書の場所	ヒットした文書の場所を表示します。
⑬	日付	文書が持つ日付情報を表示します。
⑭	サイズ	文書のファイルサイズを KB 単位で表示します。ファイルサイズの情報を持たない文書の場合は、0KB と表示されます。
⑮	似ている文書を検索	ヒットした文書と似ている文書を検索します。 詳細については「 2.4.1 似ている文書を検索した場合 」を参照してください。
⑯	<<先頭へ, <前へ	検索結果ページが複数存在する場合で、先頭ページ以外を表示しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <<先頭へ クリックすると、先頭の検索結果ページを表示します。 <前へ クリックすると、一つ前の検索結果ページを表示します。

#	項目名	説明
⑰	ページ番号	表示している検索ページの前後 10 ページまで、検索結果のページ番号を表示します。 前後に表示する 10 ページがない場合は、現在のページ位置を移動して前後 10 ページ分を表示します。 検索結果が 10 ページ分ない場合は、存在するページ数分を表示します。クリックすると該当するページの検索結果が表示されます。
⑱	次へ>, 最後尾へ>>	検索結果ページが複数存在する場合で、最終ページ以外を表示しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 次へ> クリックすると、一つ後ろの検索結果ページを表示します。 最後尾へ>> クリックすると、最後の検索結果ページを表示します。
⑲	仮想フォルダー	仮想フォルダーを使用するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 仮想フォルダー指定なし 検索した場合、仮想フォルダーメニューは最上位フォルダー「システム」をカレントフォルダーとして表示します。 検索結果の絞り込みに使用された仮想フォルダー名（デフォルト） 以下の場合、非表示となります。 <ul style="list-style-type: none"> 仮想フォルダーで検索結果を絞り込んでいない場合 サーバー設定で仮想フォルダー機能を無効にしている場合
⑳	パンくずリスト	最上位フォルダーから検索結果の絞り込みに使用した仮想フォルダーまでを半角空白+「>」区切りで表示します。 検索結果の絞り込みに使用した仮想フォルダー以外はリンクになります。そのリンクをクリックすると、仮想フォルダーメニューはクリックした仮想フォルダーをカレントフォルダーとして表示し、クリックした仮想フォルダーと検索結果画面の表示に使用された検索条件（仮想フォルダーの条件は除きます）で検索を実行します。*

注※

クリックした仮想フォルダーが存在しない場合は、検索結果画面の表示に使用された検索条件だけで検索します。

注意事項

検索結果画面では、検索結果に削除された文書が含まれている場合、「このコンテンツは検索中に削除されたため表示できません。」とメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている文書のタイトルをクリックした場合は、何も表示されません。

2.4.1 似ている文書を検索した場合

検索結果画面でヒットした文書の [似ている文書を検索] リンクをクリックした場合、ヒットした文書の本文、および添付ファイルの内容で文章検索を実行します。

文書の本文と添付ファイルの内容が合わせて 100KB を超える場合は、文書の本文を優先して検索を実行します。

似ている文書の検索結果を次の図に示します。

図 2-9 似ている文書の検索結果



また、検索結果の絞り込みに仮想フォルダーを使用した場合は次の画面が表示されます。

図 2-10 似ている文書の検索結果（検索結果の絞り込みに仮想フォルダーを使用した場合）



似ている文書の検索結果画面の表示項目について次の表に示します。

表 2-8 似ている文書の検索結果画面の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	空で表示されます。 検索条件を入力すると、システム管理者の設定によっては、入力したテキストに応じた検索キーワード候補が表示されます。ユーザーは表示された検索キーワード候補から検索キーワードを選択して、検索条件に指定できます。 検索キーワード候補表示の詳細については「2.2 検索画面」を参照してください。
②	絞り込み検索	元の検索画面で絞り込み検索条件を指定していた場合でも、初期状態にリセットされます。
③	タイトル	元の文書をリンクとして表示します。 クリックすると元となった文書が表示されます。
④	仮想フォルダー	仮想フォルダーを使用するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none">仮想フォルダー指定なし 検索した場合、仮想フォルダーメニューは最上位フォルダー「システム」をカレントフォルダーとして表示します。検索結果の絞り込みに使用された仮想フォルダー名（デフォルト） 以下の場合は、非表示となります。 <ul style="list-style-type: none">仮想フォルダーで検索結果を絞り込んでいない場合サーバー設定で仮想フォルダー機能を無効にしている場合
⑤	パンくずリスト	最上位フォルダーから検索結果の絞り込みに使用した仮想フォルダーまでを半角空白+「>」区切りで表示します。 検索結果の絞り込みに使用した仮想フォルダー以外はリンクになります。そのリンクをクリックすると、仮想フォルダーメニューはクリックした仮想フォルダーをカレントフォルダーとして表示し、クリックした仮想フォルダーと検索結果画面の表示に使用された検索条件（仮想フォルダーの条件は除きます）で検索を実行します。*

注※

クリックした仮想フォルダーが存在しない場合は、検索結果画面の表示に使用された検索条件だけで検索します。

2.5 仮想フォルダー機能

仮想フォルダー機能とは、検索結果を分類できるような検索条件を仮想フォルダーとして登録し、検索に使用することにより容易に検索結果を絞り込むことができる機能です。階層的に管理ことができ、ユーザーはシステム管理者が作成した仮想フォルダーとユーザー自身が作成した仮想フォルダーを使用することができます。

多機能検索画面では、ユーザー自身が作成した仮想フォルダーの編集ができます。

仮想フォルダーの共通定義には以下のような定義があります。

表 2-9 仮想フォルダーの共通定義

定義名	定義内容
検索用フォルダー	検索条件を持ち、検索結果の絞り込みができる仮想フォルダー
分類用フォルダー	検索条件を持たず、仮想フォルダーの分類に使用する仮想フォルダー

2.5.1 仮想フォルダーメニュー

仮想フォルダーメニューは、検索結果の絞り込みに使用するメニューです。

システム管理者が作成した仮想フォルダー、およびユーザー自身が作成した仮想フォルダーを表示します。サーバー設定画面で仮想フォルダー機能を無効にしている場合は、仮想フォルダーメニューは非表示となります。

以降、開いている仮想フォルダーを「カレントフォルダー」、カレントフォルダーの直下にある仮想フォルダーを「サブフォルダー」と表記します。

図 2-11 仮想フォルダーメニュー







最上位仮想フォルダー以外を開いている場合の仮想フォルダー画面を次に示します。

図 2-12 仮想フォルダーメニュー（最上位フォルダー以外を開いている場合）



表 2-10 仮想フォルダーのメニュー機能について

#	項目名	説明
①	システム仮想フォルダー	<p>システム管理者が作成した仮想フォルダーです。最上位フォルダーは「システム」となります。ログイン時は、最上位フォルダー「システム」が開いた状態で表示されます。</p> <p>システム仮想フォルダーが閉じている場合、システム仮想フォルダーの最上位フォルダー「システム」または仮想フォルダーアイコンをクリックすると、最上位フォルダー「システム」をカレントフォルダーとして開き、ユーザー仮想フォルダーが閉じます。</p>
②	ユーザー仮想フォルダー	<p>ユーザーが作成した仮想フォルダーです。最上位フォルダーは「ユーザー」となります。ログイン時は、ユーザー仮想フォルダーが閉じた状態で表示されます。</p> <p>ユーザー仮想フォルダーが閉じている場合、ユーザー仮想フォルダーの最上位フォルダー「ユーザー」または仮想フォルダーアイコンをクリックすると、最上位フォルダー「ユーザー」をカレントフォルダーとして開き、システム仮想フォルダーが閉じます。</p> <p>以下の場合、ユーザー仮想フォルダーは非表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログインを行っていない場合 Enterprise Search 内にログインしたユーザーが登録されていない場合 サーバー設定でユーザーの仮想フォルダー作成を無効にしている場合
③	カレントフォルダーアイコン／カレントフォルダー名	<p>カレントフォルダーが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検索用フォルダーの場合、が表示されます。 分類用フォルダーの場合、が表示されます。
④	サブフォルダーアイコン／サブフォルダー名	<p>カレントフォルダーの下位に存在するサブフォルダーが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検索用フォルダーの場合、が表示されます。 分類用フォルダーの場合、が表示されます。 <p>仮想フォルダーアイコン、または仮想フォルダー名をクリックすると、クリックしたフォルダーをカレントフォルダーとする仮想フォルダーメニューが表示されます。</p> <p>クリックしたサブフォルダーが存在しない場合は、最上位フォルダー「システム」をカレントフォルダーとした仮想フォルダーメニューが表示されます。</p>

#	項目名	説明
⑤	仮想フォルダー画面への遷移アイコン	仮想フォルダー画面への遷移アイコンです。 クリックすると、仮想フォルダー画面に遷移します。
⑥	上位に戻るアイコン	カレントフォルダーの一つ上位の仮想フォルダーに遷移します。 クリックすると、カレントフォルダーの上位にある仮想フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。 最上位フォルダーがカレントディレクトリの場合は、アイコンは非表示となります。

注意事項

左ペインのメニューで仮想フォルダーメニュー以外をクリックした場合、または右ペインの [設定] リンクをクリックして設定画面を表示した場合は、最上位フォルダー「システム」をカレントフォルダーとした仮想フォルダーメニューを表示します。

2.5.2 仮想フォルダーを利用した検索

仮想フォルダーメニューからの仮想フォルダーを用いた検索の実行は以下となります。

- 上位に戻るアイコンをクリック
- サブフォルダーアイコン、またはサブフォルダー名をクリック

上記の操作により、仮想フォルダーメニューのカレントフォルダーが変更されます。変更後のカレントフォルダーが検索結果の絞り込みに利用される仮想フォルダーとなります。

以下に検索に使用される検索条件について示します。

なお、「右ペインの検索条件」とは、キーワード入力フォームと絞り込みフォームに入力できる検索条件です。

表 2-11 検索に使用される検索条件

画面	画面表示に使用した検索条件	検索操作	検索条件
検索結果画面	右ペインの条件	[検索] ボタン	右ペインの条件
		仮想フォルダーメニュー	検索結果画面の表示に使用された右ペインの条件、かつ仮想フォルダー※1
	仮想フォルダー	[検索] ボタン	右ペインの条件、かつ仮想フォルダー※1
		仮想フォルダーメニュー	仮想フォルダー

画面	画面表示に使用した検索条件	検索操作	検索条件
検索結果画面	右ペインの条件, かつ 仮想フォルダー	[検索] ボタン	右ペインの条件, かつ仮想フォルダー※1
		仮想フォルダーメニュー	検索結果画面の表示に使用された右ペインの条件, かつ仮想フォルダー
検索画面		[検索] ボタン	右ペインの条件
		仮想フォルダーメニュー	仮想フォルダー
詳細検索画面		[検索] ボタン	右ペインの条件
		仮想フォルダーメニュー	仮想フォルダー
その他		仮想フォルダーメニュー	仮想フォルダー

注※1

右ペインで「仮想フォルダー指定なし」を選択していない場合。

注※2

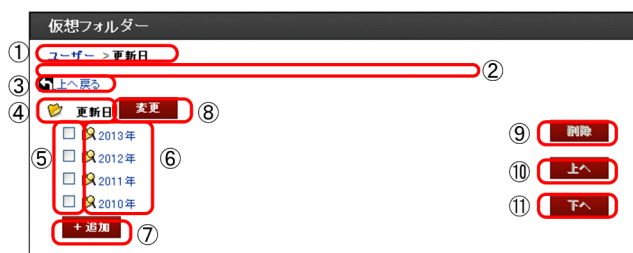
右ペインの条件から、仮想フォルダー指定を除きます。

2.5.3 仮想フォルダー画面

Enterprise Search に登録している仮想フォルダーを表示する画面です。





仮想フォルダー画面への遷移アイコンをクリックすると、最上位フォルダー「ユーザー」を開いた状態で次の画面が表示されます。

図 2-13 仮想フォルダー画面



仮想フォルダー画面の表示項目について次の表に示します。

表 2-12 仮想フォルダー画面の表示項目

#	項目名	説明
①	パンくずリスト	最上位の仮想フォルダーからカレントフォルダーまでを半角空白+「>」区切りで表示します。 カレントフォルダー以外の仮想フォルダー名はリンクとなり、クリックすると、クリックした仮想フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。
②	メッセージ欄	操作を実行した際のエラー、またはワーニングなどのメッセージを表示する欄です。別の操作を実行すると、表示されていたメッセージはクリアされます。
③	[上へ戻る] リンク	カレントフォルダーの一つ上位の仮想フォルダーに遷移します。クリックすると、カレントフォルダーの上位にある仮想フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。最上位フォルダーがカレントディレクトリの場合は、アイコンは表示されません。
④	カレントフォルダーアイコン/カレントフォルダー名	カレントフォルダーアイコンとカレントフォルダー名が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 検索用フォルダーの場合、が表示されます。 分類用フォルダーの場合、が表示されます。
⑤	選択チェックボックス	削除、または表示順の変更をするフォルダーを選択します。なお、デフォルトはすべて未選択状態になります。
⑥	サブフォルダーアイコン/サブフォルダー名	サブフォルダーアイコンとサブフォルダー名が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 検索用フォルダーの場合、が表示されます。 分類用フォルダーの場合、が表示されます。 サブフォルダーアイコン、またはサブフォルダー名をクリックすると、クリックしたサブフォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。
⑦	[+追加] ボタン	カレントフォルダーの下位に、新規で仮想フォルダーを作成します。クリックすると、仮想フォルダー作成画面に遷移します。なお、新規で作成した仮想フォルダーは、サブフォルダーの一番下の位置に配置されます。 以下の場合は、クリック時にメッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 仮想フォルダーのネストが、システム管理者が設定した最大作成ネスト数を越える場合 カレントフォルダーにあるサブフォルダーの数が、システム管理者が設定した仮想フォルダー直下に作成できる仮想フォルダー数を越える場合
⑧	[変更] ボタン	カレントフォルダー情報を更新します。クリックすると、仮想フォルダー詳細画面に遷移します。なお、最上位フォルダーがカレントフォルダーの場合は、ボタンが非活性化されます。
⑨	[削除] ボタン	選択しているサブフォルダーを削除します。削除した場合は、削除した仮想フォルダーの下位にある仮想フォルダーも削除されます。 選択しているサブフォルダーが一つもない場合は、ボタンが非活性化されます。
⑩	[上へ] ボタン	サブフォルダーの表示順を一つ上に移動するボタンです。選択しているサブフォルダーの表示順を一つ上の位置に移動します。選択したサブフォルダーの表示順が一番上の場合、順番は更新されません。

#	項目名	説明
⑩	[上へ] ボタン	<p>選択が以下の場合、「上へ」ボタンは非活性化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> サブフォルダーが一つも選択されていない場合 サブフォルダーを二つ以上選択している場合
⑪	[下へ] ボタン	<p>サブフォルダーの順序を一つ下に移動するボタンです。選択しているサブフォルダーの表示順を一つ下の位置に移動します。選択したサブフォルダーの表示順が一番下の場合は、順番は更新されません。</p> <p>選択が以下の場合、「下へ」ボタンは非活性化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> サブフォルダーが一つも選択されていない場合 サブフォルダーを二つ以上選択している場合

2.5.4 仮想フォルダー作成画面

仮想フォルダー作成画面は、仮想フォルダー名や検索条件などの情報を入力して、新規に仮想フォルダーを作成する画面です。仮想フォルダー画面で「新規」ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

図 2-14 仮想フォルダー作成画面

図 2-15 仮想フォルダー作成画面（検索条件部）

⑪ 複数のキーワードを入れる場合はスペースで区切ってください。
 をすべて含む
 のいずれかを含む
 を含まない

⑫ 指定なし
 html, htm pdf doc, docx xls, xlsx ppt, pptx

⑬ 3件まで指定することができます。例: "日立太郎" "日立花子" など

⑭ 例: "index" "提案資料" など

⑮ 指定なし
 指定 年 月 日 の 前後1ヶ月

⑯ 検索範囲に含めたい項目にチェックをつけてください。チェックされた項目は下位すべてが検索範囲になります。

- WWW (0件)
- NTFS (20件)
- RDB (10件)
- Notes (0件)
- doc (0件)

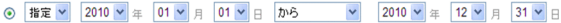

⑰ "hitachico.jp" "file-server*" などのURLのドメインやファイルサーバーのパスを入力してください。

仮想フォルダー作成画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-13 仮想フォルダー作成画面の表示項目

#	項目名	指定規則	説明
①	メッセージ欄	—	操作実行時のエラー，またはワーニングなどのメッセージを表示する欄です。別の操作を実行すると，表示されていたメッセージはクリアされます。
②	[仮想フォルダー画面へ] ボタン	—	仮想フォルダー画面で「新規」ボタンをクリックしたときの仮想フォルダー画面に遷移します。※1
③	仮想フォルダー名	必須	仮想フォルダー名を入力します。指定できる文字数は，30 文字です。
④	仮想フォルダー作成パス	—	最上位の仮想フォルダーから「新規」ボタンをクリックしたカレントフォルダーまでを，半角空白+「>」区切りでパス表示します。
⑤	説明	任意	仮想フォルダーに関する説明を入力します。指定できる文字数は，1024 文字です。
⑥	仮想フォルダータイプ	必須	仮想フォルダーのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 検索用フォルダー 検索条件を持ち，検索結果の絞り込みができる仮想フォルダー • 分類用フォルダー 検索条件を持たず，仮想フォルダーの分類に使用する仮想フォルダー
⑦	上位検索条件の引き継ぎ	必須	上位の仮想フォルダーの検索条件を引き継ぐのを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 引き継ぐ（デフォルト） • 引き継がない <p>引き継ぐを選択した場合は，上位の仮想フォルダー検索条件を引き継ぎます。また，上位の仮想フォルダーも引き継ぐを設定している場合は，さらに上位の検索条件も引き継ぎます。</p> <p>仮想フォルダータイプに「分類用フォルダー」を選択している場合は，「引き継がない」が非活性化されます。</p>
⑧	検索条件部	—	仮想フォルダーに設定する検索条件を入力します。 仮想フォルダータイプに「検索用フォルダー」が選択されている場合だけ表示されます。

#	項目名	指定規則	説明
⑨	[元に戻す] ボタン	—	仮想フォルダー作成画面を最初に表示した状態に戻します。*2
⑩	[作成] ボタン	—	仮想フォルダー作成画面で設定した内容で、仮想フォルダーを新規作成します。作成後、作成する仮想フォルダーの上位をカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。*2*3
⑪	キーワード*4	⑥が検索用フォルダーの場合：任意	次のどれか、またはすべてを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • をすべて含む 指定したすべてのキーワードを文書中に含む文書を検索対象とします。 • のいずれかを含む 指定した複数のキーワードのうち、どれかを文書中に含む文書を検索対象とします。 • を含まない 指定したキーワードを文書中に含まない文書を検索対象とします。
⑫	ファイル形式	⑥が検索用フォルダーの場合：任意	検索対象とするファイル形式を選択します。どれも選択しない場合、検索結果は 0 件となります。選択できるファイル形式を次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 指定なし (デフォルト) • html, htm • pdf • doc, docx • xls,xlsx • ppt, pptx
⑬	ユーザー	⑥が検索用フォルダーの場合：任意	ユーザーを 3 人まで指定して検索できます。指定できる文字数は、24 文字です。検索対象となるユーザー名は、検索対象のファイルが持つデータにより異なります。例えば、office 文書の場合は文書のプロパティ、Groupmax 内の文書の場合は、発言者名、投稿者名などが検索の対象になります。
⑭	ファイル名	⑥が検索用フォルダーの場合：任意	ファイル名を指定して検索する場合に指定します。指定できる文字数は、48 文字です。なお、ファイル名にタブ、および全角および半角の空白が含まれている場合は、これらの文字を無視して検索を実行します。
⑮	日付	⑥が検索用フォルダーの場合：必須	検索対象とする文書を、日付を指定して絞り込む場合に選択します。日付を指定する場合は、プルダウンメニューで指定します。なお、指定した日付が存在しない日付の場合、存在する日付に変更します。例えば、4 月 31 日と指定した場合は、4 月 30 日に変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • 指定なし (デフォルト) • 指定, 年, 月および日 年には Enterprise Search のサーバーに設定された年の前後 10 年を指定できます。デフォルトでは、Enterprise Search のサーバーに設定された年月の同月 1 日が表示されています。 • 最新 検索日時と検索日時の 1 日前の範囲を対象にします。 • 今月

#	項目名	指定規則	説明
⑮	日付	⑥が検索用フォルダーの場合：必須	<p>検索日時の月の範囲を対象にします。</p> <p>日付を指定した場合、指定した日付を起点とした検索範囲を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> の前後 1 ヶ月 年月日に指定した日付の前後 1 ヶ月 より以前の日 年月日に指定した日付より以前の日 より以降の日 年月日に指定した日付より以降の日 から 日付指定のプルダウンメニューが表示され、いつまでを検索の対象日付とするかを指定できます。指定できる年月日の条件は同じです。 <p></p> <p>最初に指定した日付より、過去の日付を指定した場合はメッセージが表示されます。</p>
⑯	検索範囲	⑥が検索用フォルダーの場合：任意	<p>検索対象とする範囲のフォルダーを選択します。デフォルトではすべてが選択されています。また、表示するフィードがないフィードタイプも表示されます。</p> <p> アイコンをクリックすると下位のフォルダーが表示され、詳細な検索範囲を指定できます。*5</p> <p>上位フォルダーを選択すると、下位フォルダーもすべて選択されます。また、上位フォルダーの選択を外すと、下位フォルダーの選択もすべて外れます。</p>
⑰	検索範囲アドレス	⑥が検索用フォルダーの場合：任意	<p>検索範囲をアドレスで指定する検索条件です。指定できる文字数は、256 文字です。</p>

注※1

仮想フォルダー画面で表示するカレントフォルダーがない場合は、最上位フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。

注※2

作成する仮想フォルダーの上位が削除されている場合は、最上位フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。また、表示された画面でエラーメッセージが表示されます。

注※3

同一階層に同じ仮想フォルダー名が存在する場合、登録は行われず、[作成] ボタンクリック時の入力内容が反映された仮想フォルダー作成画面に戻ります。また、戻った画面でエラーメッセージが表示されます。

注※4

キーワードを指定するときの注意事項を、次に示します。

- 一つのキーワードに指定できる文字の長さは、64 文字までです。

- 一度に指定できるキーワードは10個までです。10個を超えるキーワードを指定した場合は、10個までが検索対象と判断されます。

注※5

ログインしているユーザーがアクセスできるコンテンツがあるフィードだけを表示します。

2.5.5 仮想フォルダー詳細情報画面

仮想フォルダーの詳細画面では、登録している仮想フォルダーの情報の表示、更新ができます。仮想フォルダー画面で [更新] ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

図 2-16 仮想フォルダー詳細画面

仮想フォルダー詳細

① 仮想フォルダー名 (30文字まで) 2010年 ② 仮想フォルダー画面へ

仮想フォルダー作成/パス ユーザー > 更新日 ③

説明 ④

仮想フォルダータイプ 検索用フォルダー 分類用フォルダー ⑤

上位検索条件の引き継ぎ 引き継ぐ 引き継がない ⑥

キーワード 複数のキーワードを入れる場合はスペースで区切ってください。
 をすべて含む
 のいずれかを含む
 を含まない

ファイル形式 指定なし
 html, htm pdf doc, docx xls,xlsx ppt, pptx

ユーザー 3件まで指定することができます。例: "日立太郎" "日立花子" など

⑧ ファイル名 例: "index" "提案資料" など

日付 指定なし
 指定 2010年 01月 01日 から 2010年 12月 31日

検索範囲 検索範囲に含まれる項目にチェックをつけてください。チェックされた項目は下位すべてが検索範囲となります。

- WWW (0件)
- NTFS (20件)
- RDB (10件)
- Notes (0件)
- RSS (0件)

検索範囲アドレス指定 *hitachi.co.jp" File-server"などのURLのドメインやファイルサーバーのパスを入力してください。

⑨ 元に戻す 更新 ⑩

図 2-17 仮想フォルダー詳細画面（検索条件部）

仮想フォルダー詳細画面の表示項目を次の表に示します。

表 2-14 仮想フォルダー詳細画面の表示項目

#	項目名	説明
①	メッセージ欄	操作実行時のエラー，またはワーニングなどのメッセージを表示する欄です。別の操作を実行すると，表示されていたメッセージはクリアされます。
②	[仮想フォルダー画面へ] ボタン	[更新] ボタンをクリックした仮想フォルダーをカレントフォルダーとした，仮想フォルダー画面に遷移します。 仮想フォルダー画面で表示するカレントフォルダーがない場合は，最上位フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。
③	仮想フォルダー名	仮想フォルダー名が入力されます。 指定できる文字数は，30 文字です。
④	仮想フォルダー作成パス	最上位フォルダーから「更新」ボタンをクリックしたときのカレントフォルダーの上位までを半角空白+「>」区切りで表示します。
⑤	説明	仮想フォルダーに関する説明が表示します。指定できる文字数は，1024 文字です。
⑥	仮想フォルダータイプ	仮想フォルダーのタイプを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 検索用フォルダー 分類用フォルダー
⑦	上位検索条件の引き継ぎ	仮想フォルダーのタイプを表示します。 上位の仮想フォルダーの検索条件を引き継ぐのかを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 引き継ぐ 引き継がない
⑧	検索条件部	仮想フォルダーに設定する検索条件を入力します。 仮想フォルダータイプに「検索用フォルダー」が選択されている場合だけ表示されます。
⑨	[元に戻す] ボタン	クリックすると，仮想フォルダー詳細画面を初期表示した状態に戻します。*1

#	項目名	説明
⑩	[更新] ボタン	クリックすると、仮想フォルダー詳細画面で入力した内容で仮想フォルダーを更新します。更新完了後、更新した仮想フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。*1*2
⑪	キーワード*3	次のどれか、またはすべてを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • をすべて含む 指定したすべてのキーワードを文書中に含む文書を検索対象とします。 • のいずれかを含む 指定した複数のキーワードのうち、どれかを文書中に含む文書を検索対象とします。 • を含まない 指定したキーワードを文書中に含まない文書を検索対象とします。
⑫	ファイル形式*4	検索対象とするファイル形式を選択します。どれも選択しない場合、検索結果は0件となります。
⑬	ユーザー	ユーザーを3人まで指定して検索できます。指定できる文字数は、24文字です。検索対象となるユーザー名は、検索対象のファイルが持つデータにより異なります。例えば、office 文書の場合は文書のプロパティ、Groupmax 内の文書の場合は、発言者名、投稿者名などが検索の対象になります。
⑭	ファイル名	ファイル名を指定して検索する場合に指定します。指定できる文字数は、48文字です。なお、ファイル名にタブ、および全角および半角の空白が含まれている場合は、これらの文字を無視して検索を実行します。
⑮	日付*4	検索対象とする文書を、日付を指定して絞り込む場合に選択します。
⑯	検索範囲*4	検索対象とする範囲のフォルダーを選択します。
⑰	検索範囲アドレス	検索範囲をアドレスで指定する検索条件です。指定できる文字数は、256文字です。

注※1

更新する仮想フォルダーの上位が削除されている、または更新する仮想フォルダーが削除されている場合は、最上位フォルダーをカレントフォルダーとした仮想フォルダー画面に遷移します。また、表示された画面でエラーメッセージが表示されます。

注※2

同一階層に同じ仮想フォルダー名が存在する場合、更新は行われず、仮想フォルダー詳細画面に戻ります。また、戻った画面でエラーメッセージが表示されます。

注※3

キーワードを指定するときの注意事項を、次に示します。

- 一つのキーワードに指定できる文字の長さは、64文字までです。
- 一度に指定できるキーワードは10個までです。10個を超えるキーワードを指定した場合は、10個までが検索対象と判断されます。

注※4

指定できる条件は、仮想フォルダー作成画面と同じです。詳細は「[2.5.4 仮想フォルダー作成画面](#)」を参照してください。

2.6 検索条件保存機能

検索条件保存機能とは、検索条件を保存する機能です。

キーワード入力フォームと絞り込みフォームに入力できる条件、検索に使用した仮想フォルダー ID を保存します。検索時には保存した検索条件を指定するだけで済むため、日々同じような検索条件を入力する手間を省くことができます。

検索条件は、検索結果画面にある [検索条件保存] ボタンをクリックすることで保存されます。検索結果画面を次の図に示します。

図 2-18 検索結果画面



検索条件保存機能の表示項目について次の表に示します。

表 2-15 検索条件保存機能の表示項目

#	項目名	説明
①	[検索条件保存] ボタン	<p>検索結果画面の結果を表示する際に使用した検索条件を保存します。</p> <p>保存する検索条件は、キーワード入力フォームと絞り込みフォームに入力できる条件、検索に使用した仮想フォルダーとなります。クリックすると、以下のダイアログが表示されます。</p> <div data-bbox="598 1563 1114 1675" data-label="Image"> </div> <p>入力フォームに保存する検索条件のタイトルを入力し、[OK] ボタンをクリックすると、入力したタイトルが保存した検索条件のタイトル一覧に追加されます。</p> <p>※1</p> <p>なお、以下の場合は非表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログインを行っていない場合 • Enterprise Search 内にログインしたユーザーが登録されていない場合 • サーバー設定で検索条件保存機能を無効にしている場合

#	項目名	説明
②	検索条件保存メニュー	<p>保存している検索条件が表示されます。</p> <p>保存している検索条件がない場合は、以下のようなメッセージが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p style="margin: 0;">保存した条件</p> <p style="margin: 0;">保存している条件はありません。</p> </div> <p>なお、以下の場合は非表示となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログインを行っていない場合 • Enterprise Search 内にログインしたユーザーが登録されていない場合 • サーバー設定で検索条件保存機能を無効にしている場合
③	保存した検索条件のタイトル	<p>保存した検索条件のタイトル一覧が、タイトルの文字列の昇順にて表示されます。クリックすると、保存した検索条件で検索が実行されます。検索実行後の検索画面では、保存した検索実行状態が再現されます。*2*3*4</p>
④	[×] ボタン	<p>保存した検索条件を削除します。</p> <p>削除した検索条件は、保存した検索条件のタイトル一覧から削除されます。</p>

注※1

タイトルの入力について以下の注意事項があります。

- 入力制限は 30 文字となります。
- すでに同じタイトルが保存されている場合は、登録できません。
- システム管理者が設定した検索条件保存数を超える場合は、登録できません。

注※2

仮想フォルダー自体の検索条件が変更されている場合、変更された仮想フォルダーの条件に従います。また、仮想フォルダー機能が無効にされている場合は、保存した検索条件に仮想フォルダーが含まれていても、仮想フォルダーの条件は無視して検索します。

注※3

似ているコンテンツの検索条件を保存している場合は、似ているコンテンツのアクセス権をチェックします。アクセス権がない、または似ているコンテンツが存在しない場合は、似ているコンテンツの検索条件を無視して検索します。

注※4

保存した検索条件に、検索できる条件が存在しない場合は、検索画面に遷移後にメッセージ「検索条件がありません。」を表示します。

3

ログインと画面構成

この章では、検索画面へのログインと画面構成について説明しています。

3.1 ログイン

Enterprise Search の検索画面のログイン URL へアクセスします。URL の例を次に示します。

http://ホスト名[※]/iwsearch/search/login.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

ログイン URL にアクセスすると、次の画面が表示されます。

なお、ログイン不要の設定の場合は、ログイン URL を指定するとホーム画面が表示されます。ホーム画面については「[3.2 ホーム画面の構成](#)」を参照してください。

図 3-1 ログイン画面



Enterprise Search に登録しているログイン ID とパスワードを入力し [ログイン] ボタンをクリックすると、Enterprise Search にログインできます。

なお、ログイン ID、パスワードは、大文字・小文字を区別します。

3.2 ホーム画面の構成

Enterprise Search にログインすると、ホーム画面が表示されます。ログイン不要の設定の場合は、ログイン URL を指定するとホーム画面が表示されます。

Enterprise Search では最初に表示される画面、絞り込み検索フォームを表示した状態の画面、検索結果を表示した状態の画面の 3 画面を合わせて、ホーム画面としています。

ホーム画面の構成について説明します。

3.2.1 ホーム画面の初期画面

ホーム画面の初期画面を次に示します。

ホーム画面では、最初に簡易検索画面が表示されます。簡易検索の詳細については「[4. 検索](#)」を参照してください。

図 3-2 ホーム画面の初期画面



3.2.2 絞り込み検索フォーム画面

ホーム画面の初期画面で「絞り込み検索」タブをクリックすると、タブが開いて絞り込み検索フォームが表示されます。絞り込み検索フォームを次に示します。

絞り込み検索フォームの詳細については「[3.2.1 絞り込み検索フォーム](#)」を参照してください。

図 3-3 絞り込み検索フォーム



3.2.3 検索結果画面

簡易検索，または絞り込み検索フォームに検索条件を指定して検索を実行すると，検索結果画面が表示されます。検索結果画面を次に示します。

検索結果画面の詳細については，「[4.4 検索結果画面](#)」を参照してください。

図 3-4 検索結果画面



3.3 設定画面

ホーム画面の初期画面で [設定] リンクをクリックすると、設定画面が表示されます。設定画面ではユーザーのパスワードの変更ができます。

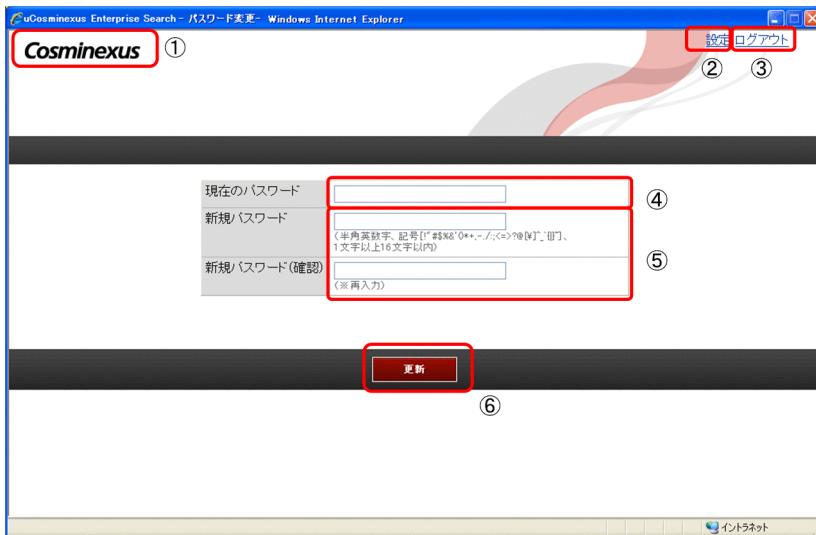
ログインが任意、または不要の設定の場合は、URL を指定するとホーム画面が表示されます。設定画面のURL を次に示します。

http://ホスト名*/iwsearch/search/userProfile.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

設定画面を次に示します。なお、Active Directory の管理するユーザー ID でログインしている場合、設定画面は表示されません。

図 3-5 設定画面



設定画面の表示項目を次の表に示します。

表 3-1 設定画面の表示項目

#	項目名	説明
①	Cosminexus	クリックするとホーム画面の初期画面へ戻ります。
②	[ホーム] リンク	クリックするとホーム画面の初期画面へ戻ります。
③	[ログアウト] リンク	クリックするとログアウトして、ログイン画面を表示します。
④	現在のパスワード	パスワードを変更する場合に、現在のパスワードを入力します。
⑤	パスワード/パスワード (確認)	パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを1~16文字以内で入力します。使用できる文字は半角英数字、および次の記号です。 [! " # \$ % & ' () * + , - / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { } ~]

#	項目名	説明
⑥	[更新] ボタン	クリックすると入力したパスワードで更新されます。

4

検索

この章では、Enterprise Search の検索の種類と検索画面について説明しています。

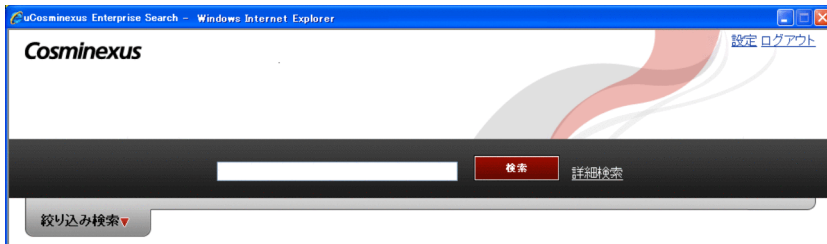
4.1 Enterprise Search の検索の種類

Enterprise Search には、簡易検索と詳細検索画面の二つの検索機能があります。

キーワードだけで検索する場合は、検索条件入力フォームに任意のキーワードを入力して簡易検索を実行します。複数の検索条件の組み合わせで検索する場合は、詳細検索画面で検索を実行します。

なお、ログインが必須、および任意の場合に検索の対象となるのは、ユーザーにアクセス権がある文書だけです。

図 4-1 検索エリア



4.1.1 指定できる検索条件

指定できる検索条件について説明します。

(1) 簡易検索で指定できる検索条件

簡易検索では、次の表に示す検索条件を指定した検索ができます。

表 4-1 簡易検索で指定できる検索の種類

検索の種類	検索条件	説明
キーワードでの検索	Enterprise	「Enterprise」を含む文書を検索します。
キーワードを組み合わせた検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のすべてを含む文書を検索します。
キーワードを組み合わせた検索（+記号を付けた検索）	Enterprise△+日立	「Enterprise」と「日立」のどちらかを含む文書を検索します。
キーワードを組み合わせた検索（-記号を付けた検索）	Enterprise△-日立	「Enterprise」を含む文書のうち、「日立」を含まない文書を検索します。

注

△、+（プラス）、-（マイナス）は半角、全角のどちらを指定しても構いません。

(2) 詳細検索で指定できる検索条件

詳細検索では、次の表に示す検索条件を指定した検索ができます。

表 4-2 詳細検索で指定できる検索の種類

検索の種類	検索条件	説明
キーワードでの検索「すべてを含む」または「いずれかを含む」で検索	Enterprise	「Enterprise」を含む文書を検索します。
キーワードでの検索「すべてを含む」で検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のすべてを含む文書を検索します。
キーワードでの検索「いずれかを含む」で検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のどちらかを含む文書を検索します。
キーワードでの検索「含まない」で検索	Enterprise△日立	「Enterprise」と「日立」のどちらも含まない文書を検索します。
文章での検索	地球環境に配慮した eco 商品に関連する広告活動	入力した文章から Enterprise Search が特徴となるキーワードを抽出し、類似した内容の文書を検索します。
検索範囲アドレス指定での検索	hitachi.co.jp	「hitachi.co.jp」を含む URL を実体アドレスの一部に持つ文書を検索します。
日付での検索	次の条件を指定した場合 <ul style="list-style-type: none"> • 日付指定プルダウンメニュー 2011 年 1 月 1 日 • の前後 1 ヶ月 	2010 年 12 月 1 日から 2011 年 2 月 1 日までの日付情報を持つ文書を検索します。

(3) 検索時の注意事項

検索時の注意事項を次に示します。

- 大・小文字，全角・半角の区別はされません。同一として扱われます。例えば，enterprise，Enterprise，ENTERPRISE のどれで検索しても，同じ検索結果が表示されます。
- 次の文字がキーワードに含まれる場合は，"（ダブルクォート）で囲んでください。
"，+，-，空白，[]（角括弧），::（コロンコロン）
ただし，"を検索する場合は""のように"を二つ並べて検索条件に指定する必要があります。
- """"を検索条件のテキストボックスに入力すると，"を検索対象として検索できます。例えば，"Enterprise"を検索する場合は""""Enterprise""""と検索条件に指定すると，"Enterprise"が検索できます。
- 一つのキーワードに指定できる文字の長さは，64 文字までです。
- 一度に指定できるキーワードは 10 個までです。10 個を超えるキーワードを指定した場合は，10 個までが検索対象と判断されます。

4.2 簡易検索画面

簡易検索画面について説明します。

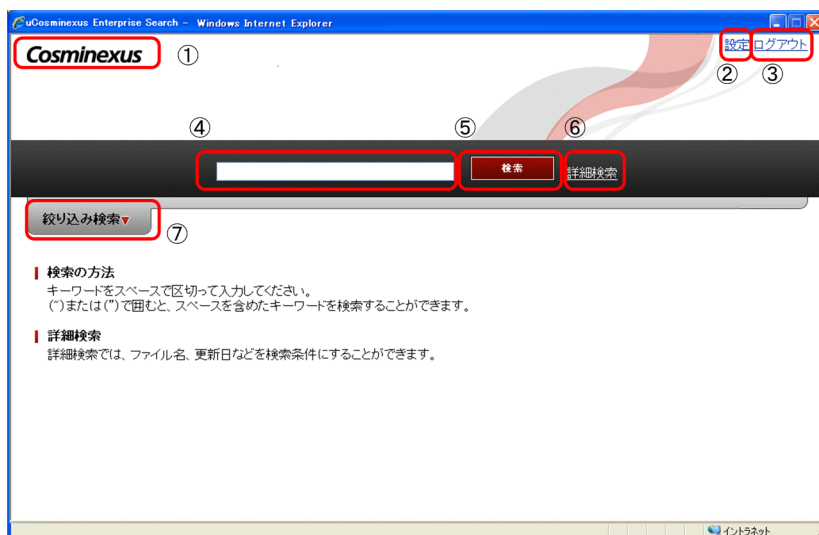
簡易検索ではキーワードを指定して即時に検索を実行することができます。指定したキーワードに対して絞り込み条件を追加する場合は、[絞り込み検索] タブをクリックして絞り込み検索フォームで条件を指定します。

ログインが任意、または不要の設定の場合は、URL を指定して簡易検索画面を表示できます。簡易検索画面の URL を次に示します。

http://ホスト名[※]/iwsearch/search/index.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

図 4-2 簡易検索画面



簡易検索画面の表示項目を次の表に示します。

表 4-3 簡易検索画面の表示項目

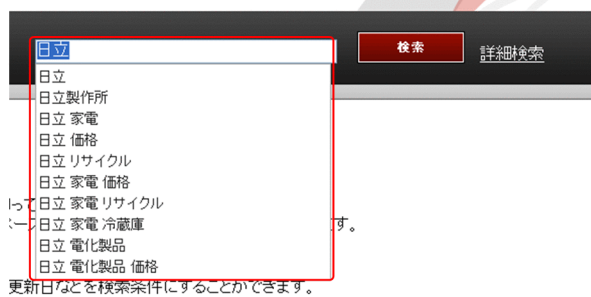
#	項目名	説明
①	Cosminexus	クリックすると画面を再表示します。
②	[設定] リンク	設定画面が表示されます。
③	[ログアウト] リンク	ログアウトして、ログイン画面を表示します。
④	検索条件入力フォーム	検索条件の入力フォームです。 指定できる検索条件については「4.1.1 指定できる検索条件」を参照してください。 システム管理者の設定によっては、入力したテキストに応じた検索キーワード候補 [※] が表示されます。

#	項目名	説明
⑤	[検索] ボタン	検索条件入力フォームに指定した検索条件で、検索を実行します。
⑥	[詳細検索] リンク	詳細検索画面を表示します。 詳細検索については「4.3 詳細検索画面」を参照してください。
⑦	[絞り込み検索] タブ	クリックすると、絞り込み検索フォームを表示します。

注※

検索キーワード候補について説明します。システム管理者が検索キーワード候補を表示する設定として
いる場合、ユーザーが検索条件入力フォームに検索キーワードを入力すると、入力したテキストに応じ
た検索キーワード候補が表示されます。ユーザーは表示された検索キーワード候補から検索キー
ワードを選択して、検索条件に指定することができます。検索キーワード候補表示時の画面を次に示します。

図 4-3 検索キーワード候補表示画面



表示された検索キーワード候補は、マウスでクリックして、またはキーボードのショートカットキーで
選択して、検索条件に指定することができます。利用できるショートカットキーを次に示します。

表 4-4 検索キーワード候補表示時に利用できるショートカットキー

入力キー	検索キーワード候補表示時の動作	検索キーワード候補非表示時の動作
↑	一つ上の検索キーワード候補へ移動	検索キーワード候補をサーバーから取得して表示
↓	一つ下の検索キーワード候補へ移動	
PageUp	一番上の検索キーワード候補へ移動	
PageDown	一番下の検索キーワード候補へ移動	
Tab	選択している検索キーワード候補を入力エリアに反映	—
Enter		—
ESC	検索キーワード候補を削除	—

4.2.1 絞り込み検索フォーム

[絞り込み検索] タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

図 4-4 絞り込み検索フォーム



絞り込み検索フォームの表示項目について、次の表に示します。

表 4-5 絞り込み検索フォームの表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件	初期画面で入力した検索条件を表示します。初期画面で何も入力しないで [絞り込み検索] タブをクリックした場合は、空で表示されます。
②	ファイル形式	検索対象とするファイル形式を、チェックボックスで選択します。どれも選択しない場合、検索結果は 0 件となります。選択できるファイル形式を次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> 指定なし (デフォルト) html, htm pdf doc, docx xls, xlsx ppt, pptx
③	日付	検索対象とする文書を、日付を指定して絞り込む場合に選択します。デフォルトでは [指定なし] が選択されています。日付を指定する場合は、プルダウンメニューで指定します。なお、指定した日付が存在しない日付の場合、存在する日付に変更します。例えば、4 月 31 日と指定した場合は、4 月 30 日に変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 指定なし (デフォルト)

#	項目名	説明
③	日付	<ul style="list-style-type: none"> 年, 月, 日 <p>年には Enterprise Search のサーバーに設定された年の前後 10 年を指定できます。デフォルトでは Enterprise Search のサーバーに設定された年月の同月 1 日が表示されています。</p> <p>日付を指定した場合, 指定した日付を起点とした検索範囲を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> の前後 1 ヶ月: 年月日に指定した日付の前後 1 ヶ月 より以前の日: 年月日に指定した日付より以前の日 より以降の日: 年月日に指定した日付より以降の日 から: 日付指定のプルダウンメニューが表示され, いつまでを検索の対象日付とするかを, 指定できます。指定できる年月日の条件は同じです。 <p> <input type="text" value="2011"/>年 <input type="text" value="08"/>月 <input type="text" value="01"/>日 から <input type="text" value="2011"/>年 <input type="text" value="08"/>月 <input type="text" value="09"/>日 </p> <p>最初に指定した日付より, 過去の日付を指定した場合はメッセージが表示されます。</p>
④	検索範囲	<p>検索対象とする範囲のフォルダーのチェックボックスを選択します。デフォルトではすべてが選択されています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> アイコンをクリックすると下位のフォルダーが表示され, 詳細な検索範囲を指定できます。</p> <p>上位フォルダーのチェックボックスを選択すると, 下位フォルダーもすべて選択されます。上位フォルダーのチェックボックスを外すと, 下位フォルダーのチェックボックスの選択もすべて外れます。</p>
⑤	[検索条件を追加] ボタン	<p>検索条件を追加する場合, プルダウンメニューで検索条件を指定し [検索条件を追加] ボタンをクリックします。指定した検索条件が追加されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検索範囲アドレス指定: 検索範囲のアドレスを入力して指定できます。 ファイル名: ファイル名を指定して検索できます。 文章: 文章を入力して, 文章の検索ができます。 ユーザー: ユーザー名を指定した検索ができます。 <p>追加できる検索条件の詳細については「4.3 詳細検索画面」を参照してください。</p>
⑥	[検索条件を削除] ボタン	<p>[検索条件を追加] ボタンで追加した検索条件の欄に表示されます。クリックすると, 追加した検索条件の項目が削除されます。</p>
⑦	[検索] ボタン	<p>指定した絞り込み検索の条件で, 検索入力フォームで入力した検索条件の検索を実行します。</p>
⑧	[閉じる] タブ	<p>絞り込み検索フォームを閉じて, 初期画面を表示します。</p> <p>指定した絞り込み検索の条件は削除されないで, そのまま設定されています。</p>

4.3 詳細検索画面

詳細検索画面について説明します。

ログインが任意、または不要の設定の場合は、URL を指定して詳細検索画面を表示できます。詳細検索画面の URL を次に示します。

http://ホスト名*/iwsearch/search/advancedsearch.html

注※ ホスト名はサーバーの環境により異なります。

[詳細検索] リンクをクリック、または URL を指定すると、次の画面が表示されます。

図 4-5 詳細検索画面

詳細検索画面の表示項目を次の表に示します。

表 4-6 詳細検索画面の表示項目

#	項目名	説明
①	キーワード	次のどれか、またはすべてを指定できます。 <ul style="list-style-type: none">• をすべてを含む すべてのキーワードを文書中に含む文書を検索対象とします。• のいずれかを含む 指定した複数のキーワードのうち、どれかを文書中に含む文書を検索対象とします。

#	項目名	説明
①	キーワード	<ul style="list-style-type: none"> • を含まない 指定したキーワードを文書中に含まない文書を検索対象とします。
②	ファイル形式※	検索対象とするファイル形式を、チェックボックスで選択します。どれも選択しない場合、検索結果は0件となります。
③	ユーザー	ユーザーを3人まで指定して検索できます。24文字まで入力できます。 検索対象となるユーザー名は、検索対象のファイルが持つデータにより異なります。例えば、office 文書の場合は文書のプロパティ、Groupmax 内の文書の場合は、発言者名、投稿者名などが検索の対象となります。
④	ファイル名	ファイル名を指定して検索する場合に指定します。48文字まで入力できます。なお、ファイル名にタブ、および全角および半角の空白が含まれている場合は、これらの文字を無視して検索を実行します。
⑤	日付※	検索対象とする文書を、日付を指定して絞り込む場合に選択します。
⑥	文章	検索したい情報に関する文章を検索条件にする場合に指定します。文章を入力すると、入力した文章に類似した文章を含む文書を検索の対象とします。 文章での検索で指定できるのは30,000文字までの文字列です。改行や空白の羅列、短すぎる文章、またはひらがなだけの文章を入力した場合などは、検索する情報を特定できないことがあります。
⑦	検索範囲※	検索対象とする範囲のチェックボックスを選択します。
⑧	検索範囲アドレス指定	検索範囲をアドレスで指定する場合に入力します。64文字まで入力できます。
⑨	[検索] ボタン	指定した絞り込み検索の条件で、検索条件入力フォームの検索条件で検索を実行します。

注※

指定できる条件は、絞り込み検索フォームと同じです。詳細は「[4.2.1 絞り込み検索フォーム](#)」を参照してください。

4.4 検索結果画面

検索結果画面について説明します。

なお、ログイン任意、または不要の設定の場合は、以前の検索結果画面の URL を指定して、検索結果画面を表示することができます。

検索結果画面を次の図に示します。検索結果画面に表示できる件数は 200 件までです。

図 4-6 検索結果画面



検索結果画面の表示項目について次の表に示します。

表 4-7 検索結果画面の表示項目

#	項目名	説明
①	Cosminexus	クリックすると画面をクリアして、ホーム画面を表示します。
②	検索条件入力フォーム	ホーム画面、検索結果画面、または詳細検索画面で指定した検索キーワードが表示されます。

#	項目名	説明
②	検索条件入力フォーム	検索条件を入力すると、システム管理者の設定によっては、入力したテキストに応じた検索キーワード候補が表示されます。ユーザーは表示された検索キーワード候補から検索キーワードを選択して、検索条件に指定できます。 検索キーワード候補表示の詳細については「 4.2 簡易検索画面 」を参照してください。
③	[検索] ボタン	指定した検索条件で検索を実行します。 検索条件入力フォーム、および絞り込み検索フォームでの検索条件「文章」に何も入力されていない場合は、検索は実行されません。
④	[詳細検索] リンク	詳細検索画面を表示します。 詳細検索については「 4.3 詳細検索画面 」を参照してください。
⑤	[絞り込み検索] タブ	絞り込み検索フォームを表示します。 絞り込み検索の詳細については、「 4.2.1 絞り込み検索フォーム 」を参照してください。
⑥	ヒット件数	指定した検索条件でヒットした件数を表示します。 ヒット件数はシステム管理者の設定により、表示されない場合があります。また、表示する設定の場合でも、10,000 件以上ヒットしたときは「10,000 件以上ヒットしました。」と表示し、10,001 件目以降は表示されない場合があります。
⑦	検索結果の表示順	検索結果画面に表示する順序をプルダウンメニューで指定します。表示順を変更すると、指定された順序で検索を再実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • キーワードの一致順 (デフォルト) 指定したキーワードへの一致度が高い順で検索結果を表示します。 • 日付が新しい順 文書が持つ日付情報の新しい順で検索結果を表示します。 • 日付が古い順 文書が持つ日付情報の古い順で検索結果を表示します。
⑧	表示件数の指定	1 ページに表示する検索結果の件数を、プルダウンメニューから指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 10 件 (デフォルト) • 20 件 • 50 件 • 100 件
⑨	タイトル	ヒットした文書のタイトルです。 クリックすると文書を別画面で表示します。タイトルに検索条件が含まれる場合は、太字で表示します。
⑩	文書種別	ヒットした文書の種別を表示します。 例えば、RSS フィード内の文書の場合は RSS、office 文書の場合は doc、xls、Groupmax の文書の場合は、電子会議室などと表示されます。
⑪	概要	文書の概要を表示します。概要に検索条件が含まれる場合は、太字で表示されません。
⑫	文書の場所	ヒットした文書の場所を表示します。
⑬	日付	文書が持つ日付情報を表示します。

#	項目名	説明
⑭	サイズ	文書のファイルサイズを KB 単位で表示します。ファイルサイズの情報を持たない文書の場合は、0KB と表示されます。
⑮	似ている文書を検索	ヒットした文書と似ている文書を検索します。 詳細については「4.4.1 似ている文書を検索した場合」を参照してください。
⑯	<<先頭へ, <前へ	検索結果ページが複数存在する場合で、先頭ページ以外を表示しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • <<先頭へ クリックすると、先頭の検索結果ページを表示します。 • <前へ クリックすると、一つ前の検索結果ページを表示します。
⑰	ページ番号	表示している検索ページの前後 10 ページまで、検索結果のページ番号を表示します。 前後に表示する 10 ページがない場合は、現在のページ位置を移動して前後 10 ページ分を表示します。 検索結果が 10 ページ分ない場合は、存在するページ数分を表示します。クリックすると該当するページの検索結果が表示されます。
⑱	次へ>, 最後尾へ>>	検索結果ページが複数存在する場合で、最終ページ以外を表示しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 次へ> クリックすると、一つ後ろの検索結果ページを表示します。 • 最後尾へ>> クリックすると、最後の検索結果ページを表示します。

注意事項

検索結果画面では、検索結果に削除された文書が含まれている場合、「このコンテンツは検索中に削除されたため表示できません。」とメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている文書のタイトルをクリックした場合は、何も表示されません。

4.4.1 似ている文書を検索した場合

検索結果画面でヒットした文書の「似ている文書を検索」リンクをクリックした場合、ヒットした文書の本文、および添付ファイルの内容で文章検索を実行します。

文書の本文と添付ファイルの内容が合わせて 100KB を超える場合は、文書の本文を優先して検索を実行します。

似ている文書の検索結果を次の図に示します。

図 4-7 似ている文書の検索結果



似ている文書の検索結果画面の表示項目について次の表に示します。

表 4-8 似ている文書の検索結果画面の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	空で表示されます。 検索条件を入力すると、システム管理者の設定によっては、入力したテキストに応じた検索キーワード候補が表示されます。ユーザーは表示された検索キーワード候補から検索キーワードを選択して、検索条件に指定できます。 検索キーワード候補表示の詳細については「4.2 簡易検索画面」を参照してください。
②	絞り込み検索	元の検索画面で絞り込み検索条件を指定していた場合でも、初期状態にリセットされます。
③	タイトル	元の文書をリンクとして表示します。 クリックすると元となった文書が表示されます。

5

Groupmax 統合検索ポートレット

この章では、Groupmax 統合検索ポートレットについて説明しています。

5.1 Groupmax 統合検索ポータルレットの概要

Groupmax 統合検索ポータルレットは、Groupmax 上で動作する統合検索ポータルレットです。

Enterprise Search の検索画面を使用しないで、Groupmax にログインして検索を実行できます。検索の対象となるのは Groupmax の電子会議室、電子掲示板、およびファイル共有です。また、システム管理者の設定により、Enterprise Search 内の文書も検索の対象とできます。

Groupmax 統合検索ポータルレットでの検索画面は、どこから統合検索ポータルレットを表示するかにより、画面サイズ、および表示項目が異なります。

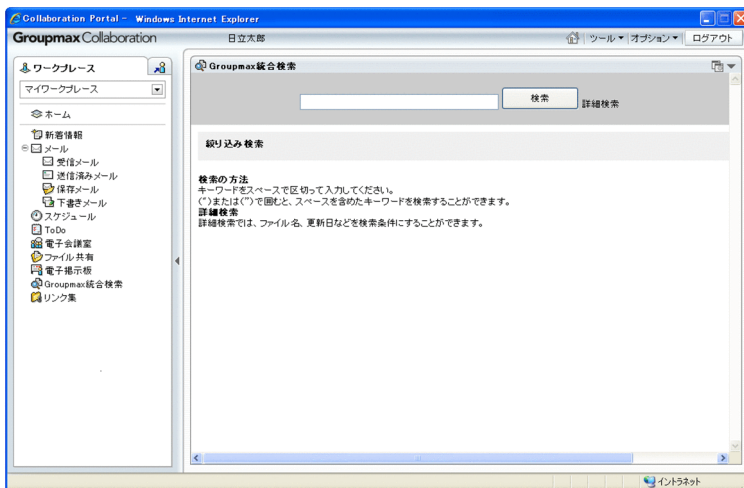
Groupmax にログインすると Groupmax 統合検索ポータルレットの画面が表示される場合は、次の画面を表示します。

図 5-1 Groupmax 統合検索ポータルレットの画面（デフォルトサイズ）



Groupmax のナビゲーションメニューから「Groupmax 統合検索」を選択した場合、または、Groupmax 統合検索ポータルレットの ▼ アイコンをクリックして [最大化] を選択した場合は、右ペインに最大サイズで Groupmax 統合検索画面を表示します。

図 5-2 Groupmax 統合検索ポータルレット画面（メニューから表示）




Groupmax 統合検索ポータルレットの  アイコンをクリックした場合は、別画面で Groupmax 統合検索画面を表示します。

図 5-3 Groupmax 統合検索ポータル画面 (最大サイズ)



5.2 Groupmax 統合検索ポータルレットの画面構成

Groupmax 統合検索ポータルレットの画面構成について説明します。

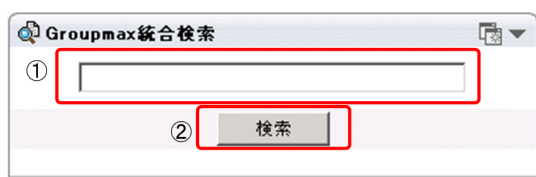
5.2.1 Groupmax 統合検索ポータルレット（デフォルトサイズ）の場合

Groupmax 統合検索ポータルレット（デフォルトサイズ）の画面構成について説明します。

(1) 検索画面の構成

Groupmax 統合検索ポータルレット（デフォルトサイズ）の検索画面を次に示します。

図 5-4 Groupmax 統合検索ポータルレットの検索画面（デフォルトサイズ）



Groupmax 統合検索ポータルレット（デフォルトサイズ）の表示項目について、次の表に示します。

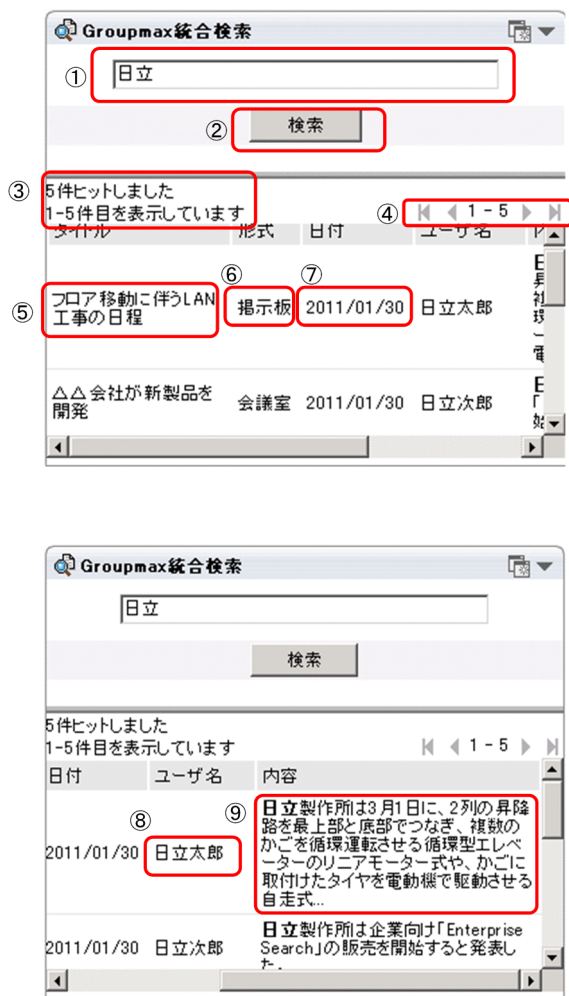
表 5-1 Groupmax 統合検索ポータルレットの検索画面（デフォルトサイズ）の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	検索条件の入力フォームです。80 文字まで入力できます。 指定できる検索条件、および検索時の注意事項は Enterprise Search の簡易検索と同様です。 [4.1.1 指定できる検索条件] を参照してください。
②	[検索] ボタン	検索条件入力フォームの検索条件で検索を実行します。

(2) 検索結果画面の構成

Groupmax 統合検索ポータルレット（デフォルトサイズ）の検索結果画面を次に示します。なお、検索結果画面に表示できる件数は 200 件までです。

図 5-5 Groupmax 統合検索ポータル (デフォルトサイズ) の検索結果画面



Groupmax 統合検索ポータル (デフォルトサイズ) の検索結果画面の表示項目について、次の表に示します。

表 5-2 Groupmax 統合検索ポータル (デフォルトサイズ) の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	指定した検索キーワードが表示されます。
②	[検索] ボタン	指定した検索条件で検索を実行します。 検索条件入力フォーム、または検索条件の「文章」に何も入力されていない場合は検索は実行されません。
③	ヒット件数とページの表示件数	検索条件にヒットした件数と 1 ページの表示件数を表示します。 ヒット件数はシステム管理者の設定により、表示されない場合があります。 システム管理者の設定が「10,000 件まで表示する」の場合、ヒット件数が 10,000 件以上の場合は「10,000 件以上ヒットしました。」と表示します。
④	別ページの検索結果へのリンク	検索結果ページが複数存在する場合に表示されます。 現在表示しているページは番号で表示されます。 • 1

#	項目名	説明
④	別ページの検索結果へのリンク	<p>クリックすると、先頭の検索結果ページを表示します。先頭ページの場合は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◀ <p>クリックすると、一つ前の検索結果ページを表示します。先頭ページの場合は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ <p>クリックすると、一つ後ろの検索結果ページを表示します。最終ページの場合は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ <p>クリックすると、最後の検索結果ページを表示します。最終ページの場合は表示されません。</p>
⑤	タイトル	<p>ヒットした文書のタイトルです。</p> <p>クリックすると、文書を別画面で表示します。タイトルに検索条件が含まれる場合は、太字で表示します。</p>
⑥	形式	<p>ヒットした文書の種別を、次の形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子会議室の場合 会議室 電子掲示板の場合 掲示板 ファイル共有の場合 ファイル共有 Enterprise Search 内の文書の場合※ 次のどれかの種別が表示されます。 RSS, NTFS, WWW, Notes, RDB
⑦	日付	文書が持つ日付情報を表示します。
⑧	ユーザ名	文書のユーザー名を表示します。
⑨	内容	<p>文書の内容を表示します。</p> <p>表示するのは、80バイトまでの文字列です。内容に検索条件が含まれる場合は、太字で表示します。</p>

注※

システム管理者の設定により、Enterprise Search 内の文書を検索できない場合は表示されません。

5.2.2 Groupmax 統合検索ポートレット（最大サイズ）の場合

最大サイズで表示する Groupmax 統合検索ポートレットの画面構成について説明します。

(1) 検索画面の構成

Groupmax 統合検索ポートレットの画面（最大サイズ）の絞り込み検索を開いた状態を次に示します。

図 5-6 Groupmax 統合検索ポータルレットの検索画面（最大サイズ）



Groupmax 統合検索ポータルレットの画面（最大サイズ）の表示項目について、次の表に示します。

表 5-3 Groupmax 統合検索ポータルレットの検索画面（最大サイズ）の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	検索条件の入力フォームです。255文字まで入力できます。 指定できる検索条件は Enterprise Search の詳細検索と同様です。 [4.1.1 指定できる検索条件] の「(2) 詳細検索で指定できる検索条件」、および「(3) 検索時の注意事項」を参照してください。
②	[検索] ボタン	検索条件入力フォームの検索条件で検索を実行します。
③	[詳細検索] リンク	クリックすると詳細検索画面を表示します。 詳細検索については、「5.3 Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索」を参照してください。
④	絞り込み検索	絞り込み検索の条件が表示されます。
	日付※1	検索対象とする日付をプルダウンメニューで指定します。 検索対象となる日付は、検索対象の文書が持つデータにより異なります。データごとの検索対象日付を次に示します。 <ul style="list-style-type: none"> 電子掲示板の場合：掲示日 電子会議室の場合：発言日 ファイル共有の場合：更新日

#	項目名	説明
④	日付※1	<ul style="list-style-type: none"> Enterprise Search 内の office 文書の場合：文書のプロパティなど  <ul style="list-style-type: none"> 指定なし 日付による絞り込みは行いません。デフォルトの設定です。 年, 月, 日 年には Enterprise Search のサーバーに設定された年の前後 10 年を指定できます。指定した日付が存在しない場合, 存在する日付に変更します。例えば, 4/31 と指定した場合は, 4/30 に変更します。デフォルトでは Enterprise Search のサーバーに設定された年月の同月 1 日が表示されています。 の前後 1 ヶ月 年月日に指定した日付の前後 1 ヶ月を検索の対象とします。 より以前の日 年月日に指定した日付より以前の日を検索の対象とします。 より以降の日 年月日に指定した日付より以降の日を検索の対象とします。 から  <p>指定すると日付指定のプルダウンメニューが表示され, いつまでを検索の対象日付とするかを, 指定できます。</p> <p>指定できる年月日の条件は同じです。</p> <p>最初に指定した日付より, 過去の日付を指定した場合はメッセージが表示されます。</p>
	検索範囲※1	<p>検索対象の範囲をチェックボックスで選択します。</p> <p>なお, システム管理者の設定により, 表示される項目は異なります。表示された項目のチェックボックスは, デフォルトではすべて選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子会議室 電子会議室を検索の対象とします。 電子掲示板 電子掲示板を検索の対象とします。 ファイル共有 ファイル共有のメールファイルを検索の対象とします。 RSS※2 Enterprise Search 内の文書のうち, RSS の文書を検索の対象とします。 NTFS※2 Enterprise Search 内の文書のうち, NTFS の文書を検索の対象とします。 WWW※2 Enterprise Search 内の文書のうち, WWW の収集された文書を検索の対象とします。

#	項目名	説明
④	検索範囲※1	<ul style="list-style-type: none"> Notes※2 Enterprise Search 内の文書のうち、Notes の文書を検索の対象とします。 RDB※2 Enterprise Search 内の文書のうち、RDB の文書を検索の対象とします。
	[検索条件を追加] ボタン	<p>絞り込み検索フォームに検索条件を追加したい場合、プルダウンメニューから追加する検索条件を選びます。なお、システム管理者の設定により、プルダウンメニューに表示される項目は異なります。[検索条件を追加] ボタンをクリックすると、選択した検索条件が追加されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー ユーザー名を指定した検索ができます。 文章 文章を入力して、文章の検索ができます。 mlf ファイル：主題 メールファイルの主題を指定した検索ができます。 mlf ファイル：宛先 メールファイルの宛先を指定した検索ができます。 mlf ファイル：送信者 メールファイルの送信者を指定した検索ができます。 mlf ファイル：添付ファイル名 メールファイルの添付ファイルの主題を指定した検索ができます。 <p>追加できる検索条件の詳細については「4. 検索」を参照してください。</p>
	[検索条件を削除] ボタン	[検索条件を追加] ボタンで追加した検索条件の欄に表示されます。クリックすると、追加した検索条件の項目が削除されます。
⑤	[検索] ボタン	指定した検索条件で検索を実行します。
⑥	[▲閉じる] リンク	<p>絞り込み検索を閉じます。</p> <p>絞り込み検索を閉じると [▼開く] リンクが表示されます。</p>

注※1

システム管理者の設定により表示されない場合があります。

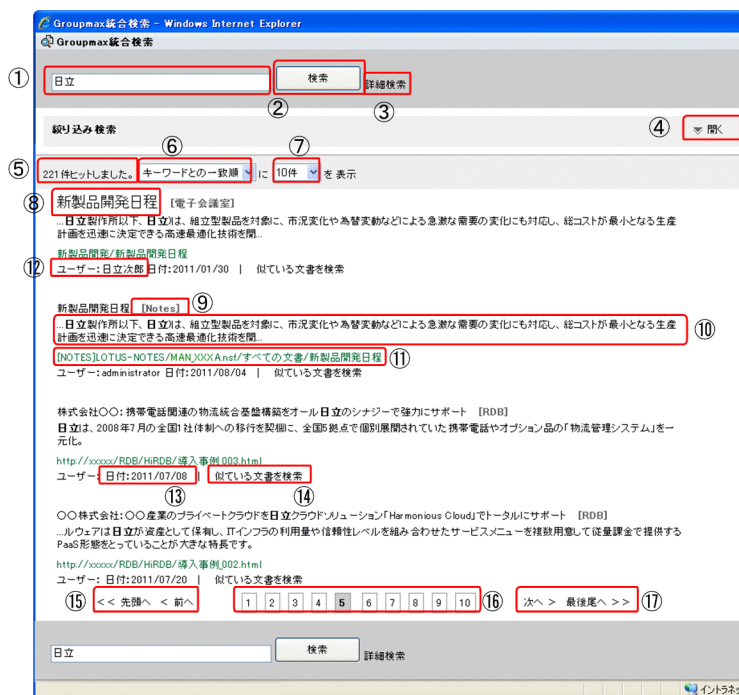
注※2

システム管理者の設定により、Enterprise Search 内の文書を検索できない場合は表示されません。

(2) 検索結果画面の構成

Groupmax 統合検索ポータル画面（最大サイズ）の検索結果画面を次に示します。なお、検索結果画面に表示できる件数は 200 件までです。

図 5-7 Groupmax 統合検索ポータルレットの検索結果画面（最大サイズ）



Groupmax 統合検索ポータルレットの検索結果画面（最大サイズ）の表示項目について、次の表に示します。

表 5-4 Groupmax 統合検索ポータルレットの検索結果画面（メニューで表示する場合）の表示項目

#	項目名	説明
①	検索条件入力フォーム	検索画面（最大サイズ）、一つ前の検索結果画面（最大サイズ）、または詳細検索画面で指定した検索キーワードが表示されます。
②	[検索] ボタン	指定した検索条件で検索を実行します。 検索条件入力フォーム、および検索条件の「文章」に何も入力されていない場合は、検索は実行されません。
③	[詳細検索] リンク	検索結果画面の表示項目をクリアして、詳細検索画面を表示します。 詳細検索については、「5.3 Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索」を参照してください。
④	[▼開く] リンク	クリックすると、絞り込み検索を開きます。検索条件に指定した絞り込みの条件を確認できます。 絞り込み検索を開いている場合は [▲閉じる] リンクが表示されます。
⑤	ヒット件数*1	検索条件にヒットした件数を表示します。 システム管理者の設定が「10,000 件まで表示する」の場合、ヒット件数が 10,000 件以上の場合は「10,000 件以上ヒットしました。」と表示し、10,001 件目以降は、表示されません。
⑥	検索結果の表示順	検索結果画面に表示する順序をプルダウンメニューから指定できます。表示順を変更すると、指定された順序で検索を再実行します。 <ul style="list-style-type: none"> キーワードの一致順

#	項目名	説明
⑥	検索結果の表示順	<p>指定したキーワードへの一致度が高い順で検索結果を表示します。デフォルトの設定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日付が新しい順 文書が持つ日付情報の新しい順で検索結果を表示します。 • 日付が古い順 文書が持つ日付情報の古い順で検索結果を表示します。
⑦	表示件数の指定	<p>検索結果画面に表示する件数をプルダウンメニューから指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10件 検索結果を画面に10件ずつ表示します。 デフォルトの設定です。 • 20件 検索結果を画面に20件ずつ表示します。 • 50件 検索結果を画面に50件ずつ表示します。 • 100件 検索結果を画面に100件ずつ表示します。
⑧	タイトル	<p>ヒットした文書のタイトルです。 クリックすると、文書を別画面で表示します。タイトルに検索条件が含まれる場合は、太字で表示します。</p>
⑨	文書種別	<p>ヒットした文書の種別を、次のどれかで表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子会議室 • 電子掲示板 • ファイル共有 • RSS※2 • NTFS※2 • WWW※2 • Notes※2 • RDB※2
⑩	概要	<p>文書の概要を表示します。 概要に検索条件が含まれる場合は、太字で表示されます。</p>
⑪	文書の場所	<p>ヒットした文書の場所を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子会議室の場合 会議室名/ヒットした文書名 • 電子掲示板の場合 掲示板名/ヒットした文書名 • ファイル共有の場合 フォルダーパス/ファイル名 • RSSの文書の場合※2 ヒットした文書のURL • NTFSの文書の場合※2

#	項目名	説明
⑪	文書の場所	<p>ヒットした文書の UNC 形式のファイルパス</p> <ul style="list-style-type: none"> • WWW の文書の場合※2 ヒットした文書の URL • Notes の文書の場合※2 Notes DB 名/文書名 • RDB の文書の場合※2 表名/文書 ID
⑫	ユーザー	文書の作成者の情報を表示します。
⑬	日付	文書が持つ日付情報を表示します。
⑭	似ている文書を検索	<p>ヒットした文書と似ている文書を検索します。</p> <p>詳細については「4.4.1 似ている文書を検索した場合」を参照してください。</p>
⑮	<< 先頭へ, < 前へ	<p>検索結果ページが複数存在する場合で、先頭ページ以外を表示しているときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • << 先頭へ クリックすると、先頭の検索結果ページを表示します。 • < 前へ クリックすると、一つ前の検索結果ページを表示します。
⑯	ページ番号	<p>表示している検索ページの前後 10 ページまで、検索結果のページ番号を表示します。</p> <p>前後に表示する 10 ページがない場合は、現在のページ位置を移動して前後 10 ページ分を表示します。</p> <p>検索結果が 10 ページ分ない場合は、存在するページ数分を表示します。クリックすると該当するページの検索結果が表示されます。</p>
⑰	次へ >, 最後尾へ >>	<p>検索結果ページが複数存在する場合で、最終ページ以外を表示しているときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次へ > クリックすると、一つ後ろの検索結果ページを表示します。 • 最後尾へ >> クリックすると、最後の検索結果ページを表示します。

注※1

システム管理者の設定により、ヒット件数が表示されない場合があります。

注※2

システム管理者の設定により、Enterprise Search 内の文書を検索できない場合は表示されません。

注意事項

検索結果画面では、検索結果に削除された文書が含まれている場合、「このコンテンツは検索中に削除されたため表示できません。」とメッセージが表示されます。このメッセージが表示されている文書のタイトルをクリックした場合は、何も表示されません。

5.3 Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索

Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索について説明します。

詳細検索画面を次に示します。

図 5-8 Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索画面

Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索画面の表示項目について、次の表に示します。

表 5-5 Groupmax 統合検索ポータルレットの詳細検索画面の表示項目

#	項目名	説明
①	キーワード	次のどれか、またはすべてを指定できます。 指定できる文字数は、それぞれ 255 文字までです。 <ul style="list-style-type: none"> • をすべてを含む 指定したすべてのキーワードを文書中に含む文書を検索します。 • のいずれかを含む 指定した複数のキーワードのうち、どれかを文書中に含む文書を検索します。 • を含まない 指定したキーワードを文書中に含まない文書を検索します。 指定したキーワードだけで検索する場合は [検索] ボタンをクリックします。
②	日付※1	検索対象とする日付をプルダウンメニューで指定します。 検索対象となる日付は、検索対象の文書が持つデータにより異なります。データごとの検索対象日付を次に示します。

#	項目名	説明
②	日付※1	<ul style="list-style-type: none"> 電子掲示板の場合：掲示日 電子会議室の場合：発言日 ファイル共有の場合：更新日 Enterprise Search 内の office 文書の場合：文書のプロパティなど  <ul style="list-style-type: none"> 指定なし 日付による絞り込みは行いません。デフォルトの設定です。 年, 月, 日 年には Enterprise Search のサーバーに設定された年の前後 10 年を指定できます。指定した日付が存在しない場合、存在する日付に変更します。例えば、4/31 と指定した場合は、4/30 に変更します。デフォルトでは Enterprise Search のサーバーに設定された年月の同月 1 日が表示されています。 の前後 1 ヶ月 年月日に指定した日付の前後 1 ヶ月を検索の対象とします。 より以前の日 年月日に指定した日付より以前の日を検索の対象とします。 より以降の日 年月日に指定した日付より以降の日を検索の対象とします。 から  指定すると日付指定のプルダウンメニューが表示され、いつまでを検索の対象日付とするかを、指定できます。 指定できる年月日の条件は同じです。 最初に指定した日付より、過去の日付を指定した場合はメッセージが表示されます。
③	検索範囲※1	<p>検索対象の範囲をチェックボックスで選択します。</p> <p>なお、システム管理者が設定により、表示される項目は異なります。表示された項目のチェックボックスは、デフォルトではすべて選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子会議室 電子会議室を検索の対象とします。 電子掲示板 電子掲示板を検索の対象とします。 ファイル共有 ファイル共有のメールファイルを検索の対象とします。 RSS※2 Enterprise Search 内の文書のうち、RSS の文書を検索の対象とします。 NTFS※2 Enterprise Search 内の文書のうち、NTFS の文書を検索の対象とします。 WWW※2

#	項目名	説明
③	検索範囲※ ¹	Enterprise Search 内の文書のうち、WWW の収集された文書を検索の対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> • Notes※² Enterprise Search 内の文書のうち、Notes の文書を検索の対象とします。 • RDB※² Enterprise Search 内の文書のうち、RDB の文書を検索の対象とします。
④	ユーザー※ ¹	ユーザーを指定して検索する場合に指定します。 指定できるユーザーは 3 人までです。24 文字まで入力できます。 検索対象となるユーザー名は、検索対象の文書が持つデータにより異なります。 例えば、Groupmax 内の文書の場合は、発言者名、投稿者名、ファイル共有の更新者名が検索の対象となり、Enterprise Search 内の office 文書の場合は、文書のプロパティなどが検索の対象となります。
⑤	文章※ ¹	検索したい情報に関する文章を検索条件にする場合に指定します。 文章を入力すると、入力した文章に類似した文章を含む文書を検索の対象とします。文章での検索で指定できるのは 30,000 文字までの文字列です。 改行や空白の羅列、短過ぎる文章、またはひらがなだけの文章を入力した場合などは、検索する情報を特定できないときがあります。
⑥	mlf ファイル：主題※ ¹	Groupmax 内の mlf ファイルの主題を検索条件にする場合に指定します。指定できる文字数は 255 文字までです。
⑦	mlf ファイル：宛先※ ¹	Groupmax 内の mlf ファイルの宛先を検索条件にする場合に指定します。 TO, CC, BCC の宛先種別のチェックボックスを選択します。デフォルトではすべて選択されています。 宛先は 3 件まで指定できます。指定できる文字数は、それぞれ 255 文字までです。? や * などの特殊文字の場合でも、すべて指定した文字列で検索します。
⑧	mlf ファイル：送信者※ ¹	Groupmax 内の mlf ファイルの送信者を検索条件にする場合に指定します。 送信者は 3 件まで指定できます。指定できる文字数は、それぞれ 255 文字までです。? や * などの特殊文字の場合でも、すべて指定した文字列で検索します。
⑨	mlf ファイル：添付ファイル名※ ¹	Groupmax 内に存在する mlf ファイルの添付ファイルの主題を検索条件にする場合に指定します。指定できる文字数は 255 文字までです。
⑩	[検索] ボタン	指定した検索条件で検索を実行します。

注※¹

システム管理者の設定により表示されない場合があります。

注※²

システム管理者の設定により、Enterprise Search 内の文書を検索できない場合は表示されません。

付録

付録 A このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むにあたっての参考情報を示します。

付録 A.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- uCosminexus Enterprise Search 環境設定ガイド (3020-3-H90)
Enterprise Search の環境設定について知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus Enterprise Search 運用ガイド (3020-3-H91)
Enterprise Search の管理者の操作について知りたい場合に参照してください。
- uCosminexus Enterprise Search メッセージ (3020-3-H93)
Enterprise Search で出力されるメッセージについて知りたい場合に参照してください。

付録 A.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルで使用している表記と、対応する製品名を次に示します。

表 A-1 このマニュアルでの表記

製品名称	略称
Groupmax Collaboration Portal 07-86 以降*	Groupmax
Groupmax Collaboration Web Client - Forum/File Sharing 07-86 以降*	
uCosminexus Collaboration Portal 06-83 以降	
uCosminexus Collaboration Portal - Forum/File Sharing 06-83 以降	

注※ Groupmax のファイル共有機能を使用する場合は、対象とするバージョンは 07-86 以降となります。

付録 A.3 英略語

このマニュアルで使用する主な英略称を次に示します。

表 A-2 英略語

英略称	英字での表記
HTML	Hyper Text Markup Language
ID	Identifier

英略称	英字での表記
IE	Internet Explorer
NTFS	NT File System
OS	Operating System
PDF	Portable Document Format
RSS	Rich Site Summary
URL	Uniform Resource Locator
WWW	World Wide Web

付録 A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。

索引

E

Enterprise Search の検索の種類 17, 55

G

Groupmax 統合検索ポートレット (最大サイズ) の場合 72

Groupmax 統合検索ポートレット (デフォルトサイズ) の場合 70

Groupmax 統合検索ポートレットの概要 68

Groupmax 統合検索ポートレットの画面構成 70

Groupmax 統合検索ポートレットの詳細検索 79

K

KB (キロバイト) などの単位表記について 84

え

英略語 83

か

仮想フォルダー機能 32

簡易検索画面 57

関連マニュアル 83

け

検索画面 12, 19

検索結果画面 13, 26, 50, 63

検索条件保存機能 45

こ

このマニュアルでの表記 83

このマニュアルの参考情報 83

し

指定できる検索条件 17, 55

絞り込み検索フォーム 20, 58

絞り込み検索フォーム画面 12, 49

詳細検索画面 23, 61

せ

設定画面 14, 52

に

似ている文書を検索した場合 30, 65

ほ

ホーム画面の構成 11, 49

ホーム画面の初期画面 49

め

メニュー 11

ろ

ログイン 10, 48